



催眠

逆NTR

恋

に堕ちる

85P

A校玄関前
午前8時

ねえ、あそこ……
けんかな？

ん？
あそこの二人？

知らない？
風紀委員の峰山さんと
学年首席の七星さん

いつも七星さんが
服とか髪で違反して、
峰山さんが怒ってる

風紀委員長
峰山 咲希

へえ……
今時いるんだね、
昔ながらの委員長
って感じの人

校則違反常習犯
七星 香織

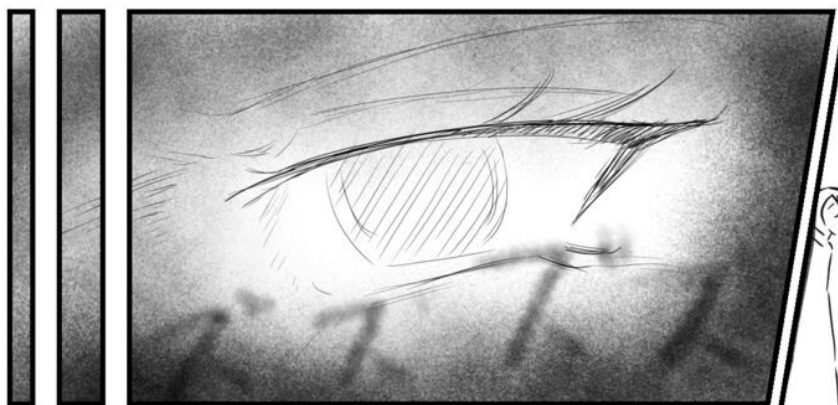
ただでさえ
先生たち
うるさいのに、
勘弁して
欲しいわあー

けど、
ルールを守れば
問題
ないんじゃない……

そこはまあ、
七星さんが
校則破って
ばっかなのも
どうかと思うけど

でも成績いいから
先生も強く
言えないとか……

あー、
ちよいちよい



一週間後

ねえ

ちよつと今から
顔貸してよ

え？
俺？

そう、キミ

キミの幼馴染み
のことで、
話があるの

咲希のことなら
咲希に言えば
いいんじゃない……

んなことしたら
不毛な言い合いに
なるのが
目に見えてるでしょ

だからキミに
仲介して
もらいたいの

た、確かに……

付いてきて

長くなるだろうし
座って話そ

東棟端
空き教室

付き合ってもらおう
お礼にこれ、
飲みなよ

いや悪いよ。
これ位のことで

いいから
遠慮とか
しないでさ

あ

それとも、
私の飲みかけの方が
よかった感じ？

へ

ま、まあ、
ありがたく
もらっとくよ

はいはい
どうぞ

で、本題の方
なんだけど...

...

七星さんの話とは要するに
「人前で争うのはやめよう」
というものだった

どうやらかなり
目立っているらしく、
あまりよくない
噂が立っているらしい
(実際僕も把握している)

正直……

七星さんも
校則を(特に服装を)
もう少し守ってくれ
とは思うが、

……まあ、それは
それとして

咲希が委員会の
活動以上に
口出ししてるのも
悪評の原因なのは
事実だしな……

ただ、意外だったのは
七星さんに歩み寄りの
意思があることだ

これなら
咲希との仲も
もう少し平和的に
改善できる
かもしれない……

まあ峰山さんも
大変だとは
思うけどさあ
頭髪検査とかは
ちゃんと受けてる
んだし、ね？

ああ、
けど……

そういえば
気になってたん
だけど……



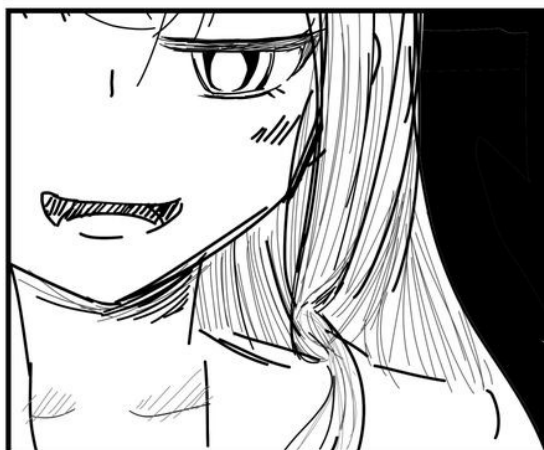
ポカン



守屋君と
峰山さんって、
付き合ってるの？



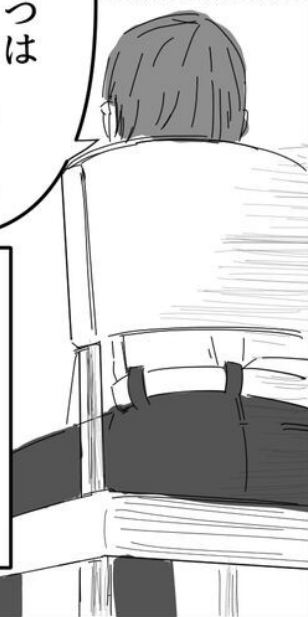
そう……
なんだ



……よかった

俺とあいつは
ただの幼馴染みだよ。
面倒事に、よく
巻き込まれてるだけで

あいつはきっと、
僕を男としては
見てないだろう
しな……



なんだ……？
急に、眠気が……

告白されるとか
勘違いした？

あ、いや、
そこまでは
思ってたないけ……ど



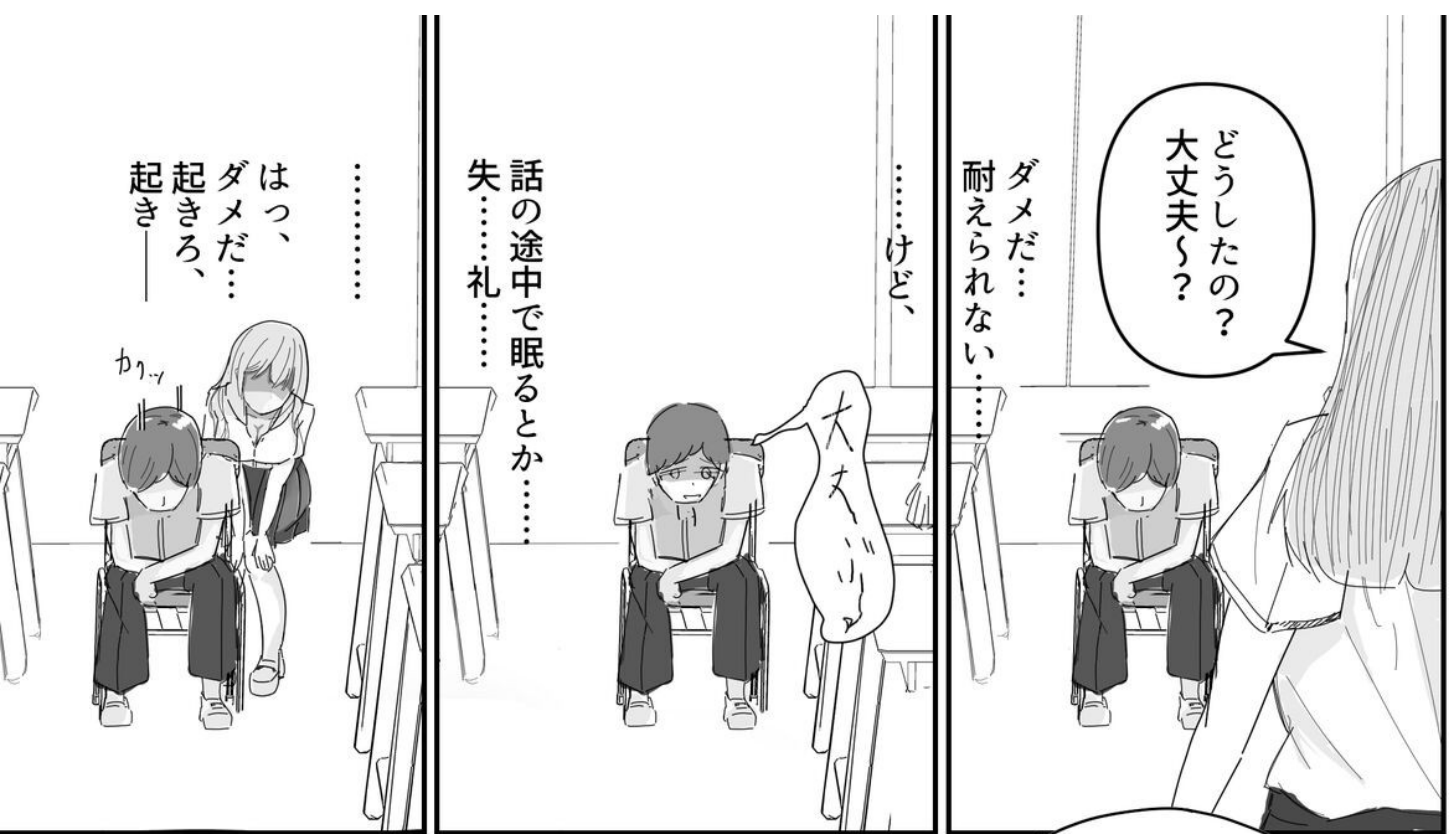
あはっ♡
彼女いる男子と

二人っきりで
話してるんじゃないかと
よかったってだけだよ

え？

それって
どういう……





深呼吸を続けると
体だけじゃなくて
心もリラックス
してくる……

息を吸うたび
心が穏やかな
気持ちで満たされて、
息を吐くたび
緊張や責任感が
すーっと抜けて、

腕から、足から、
そして心から。
どんどん
力が抜けていく
まどろみの世界
堕ちていく

あたまた空っぽにして
のんびりするの
は気持ちいいね

まるで眠ってるみたい。
だけど無意識に
私の声は認識してる
その不思議な感覚を
しっかり脳に
覚えさせて

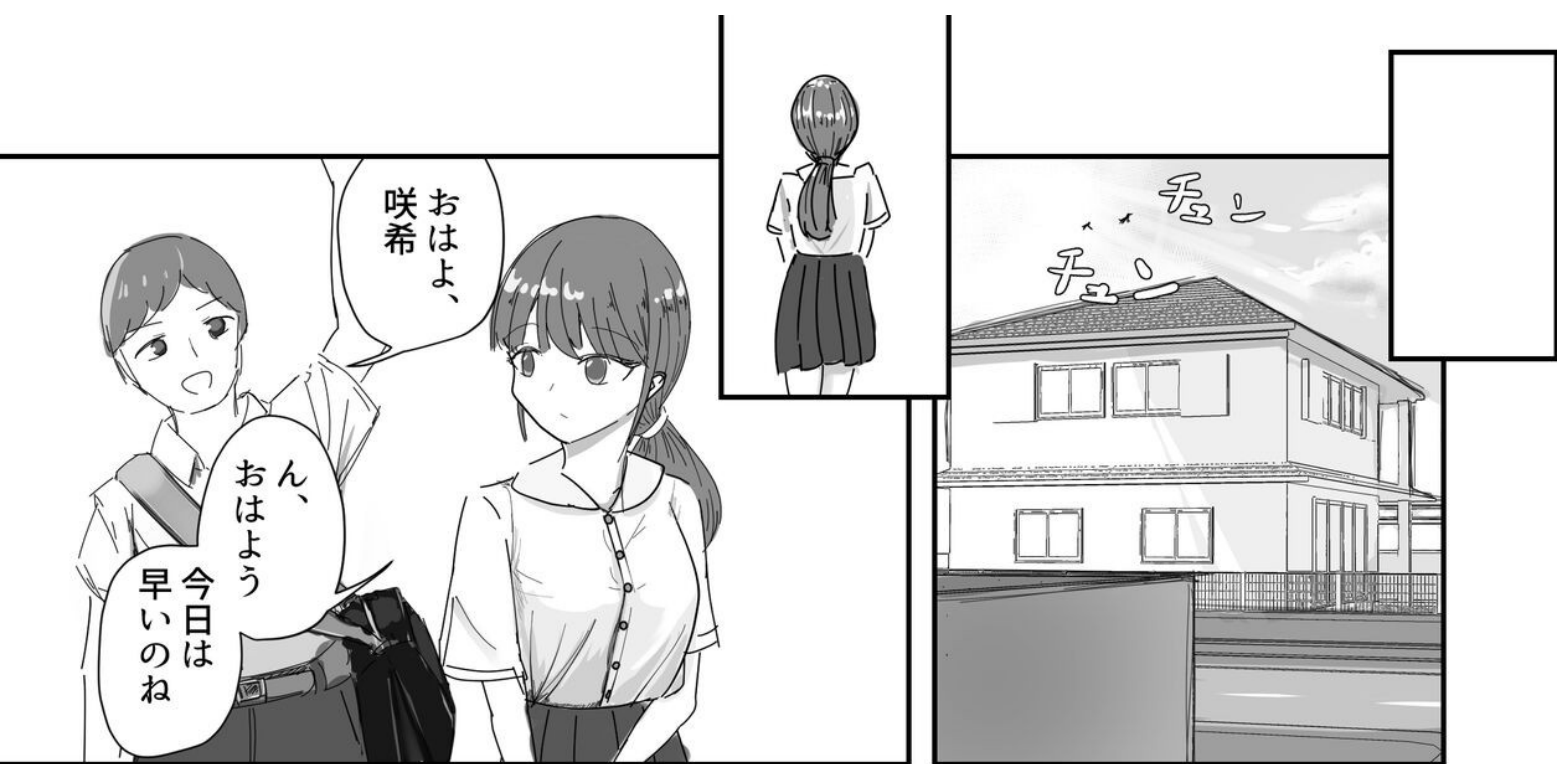
ほら、
気持ちいいよね？
幸せだよな？
思考を放り出して、
私の声に耳を澄ましたい
そんな気持ちが、
キミの中で高まってくる……

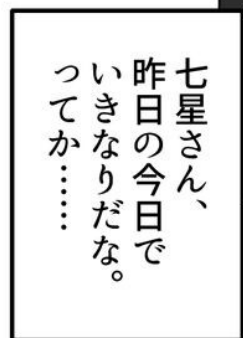
少しずつ、少しずつ、
キミに暗示と
催眠の気持ちよさを
刷り込んであげる

毎日、この場所で、
少しずつキミは
変わっていくの

楽しみだね。
キミはこれから、
どんな顔を
見せてくれるのかな？
大事な幼馴染みを、
どんな風に傷つけて
しまうのかな？

これから
よろしくね、
守屋君……♡





やだなあ

私はただ、
峰山さんと
仲良くなりたいなあ
って思ってる
だけなのに

改めて見ると、
七星さんって、
すごく綺麗な顔
してるよなあ…
メイクとか
してるんだらうけど、
なんかすごく
色っぽいし



胸のボタン
外してるせいで
谷間が見えてるの、
わざとなのかな…
そうじゃなくても
巨乳で目を
引くの…

できれば
信じてあげたい
ところだけど、

私にはただ
校則違反の
お目こぼしを
もらいたいだけ
にみえるのよね

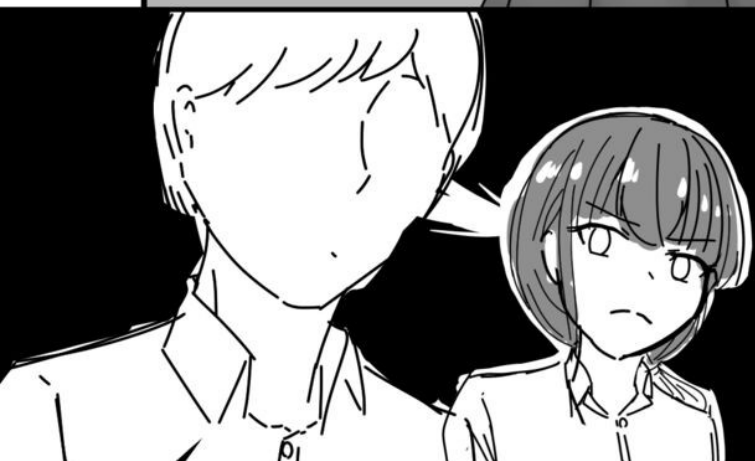
あはっ、
そういう気持ちも
なくはなかったり？

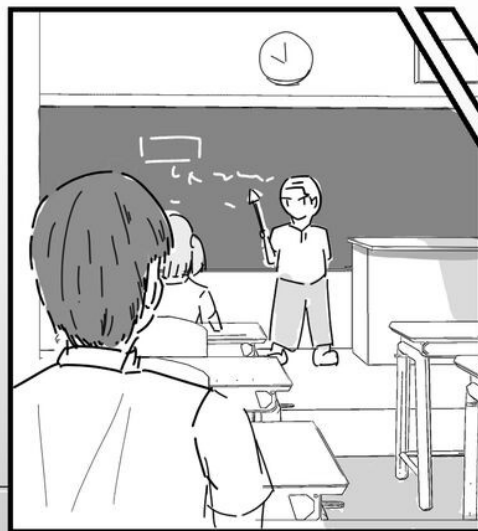
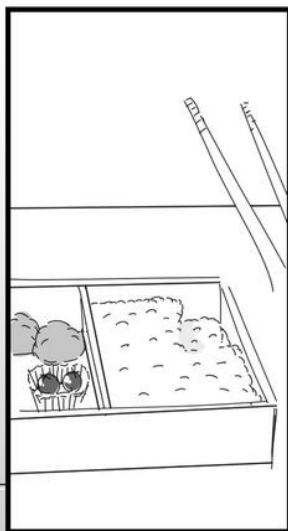
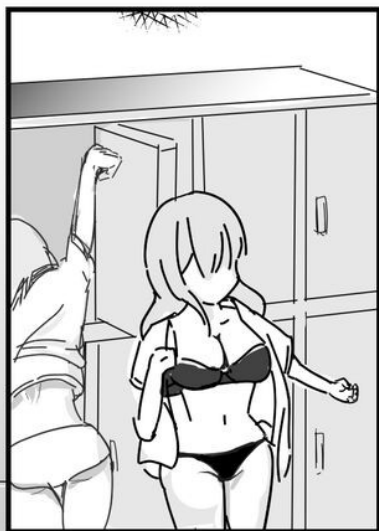
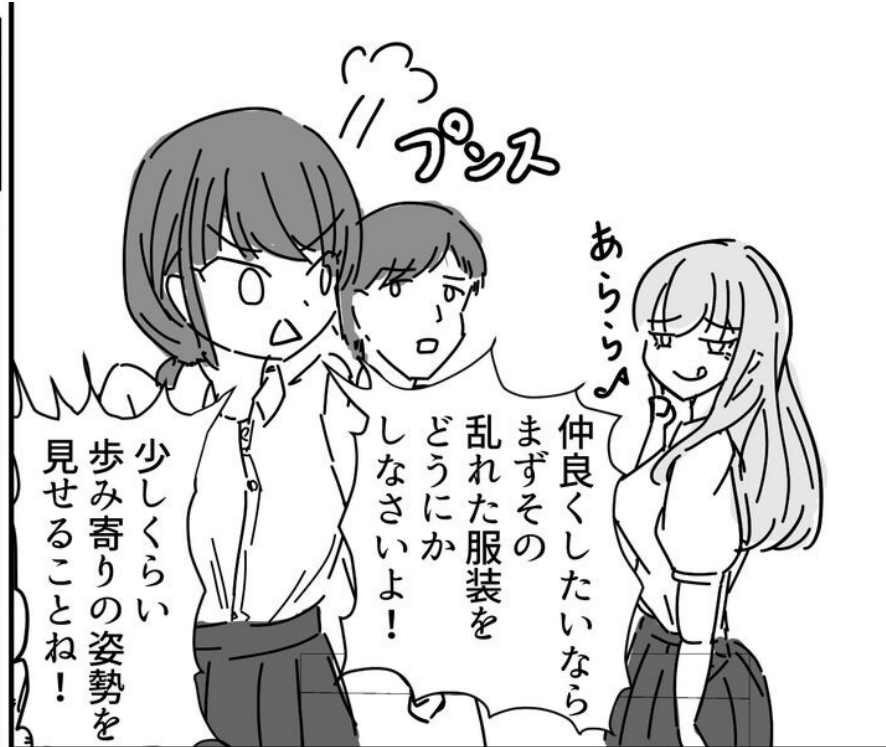
それにスカートも
短くて…
って、

今日はやけに
服装違反が
目に付くな…
咲希の癖が
移ったか？

っていうか、
陽一ってば
なんか視線
おかしくない？

「私のことが心配」
とか言いながら、
本当は服装違反の
はだけた胸が
見たいだけ
なんじゃないの!?
あゝ、もうっ!





どう？
点取ってる？

あー、
いや全然

そっちは？

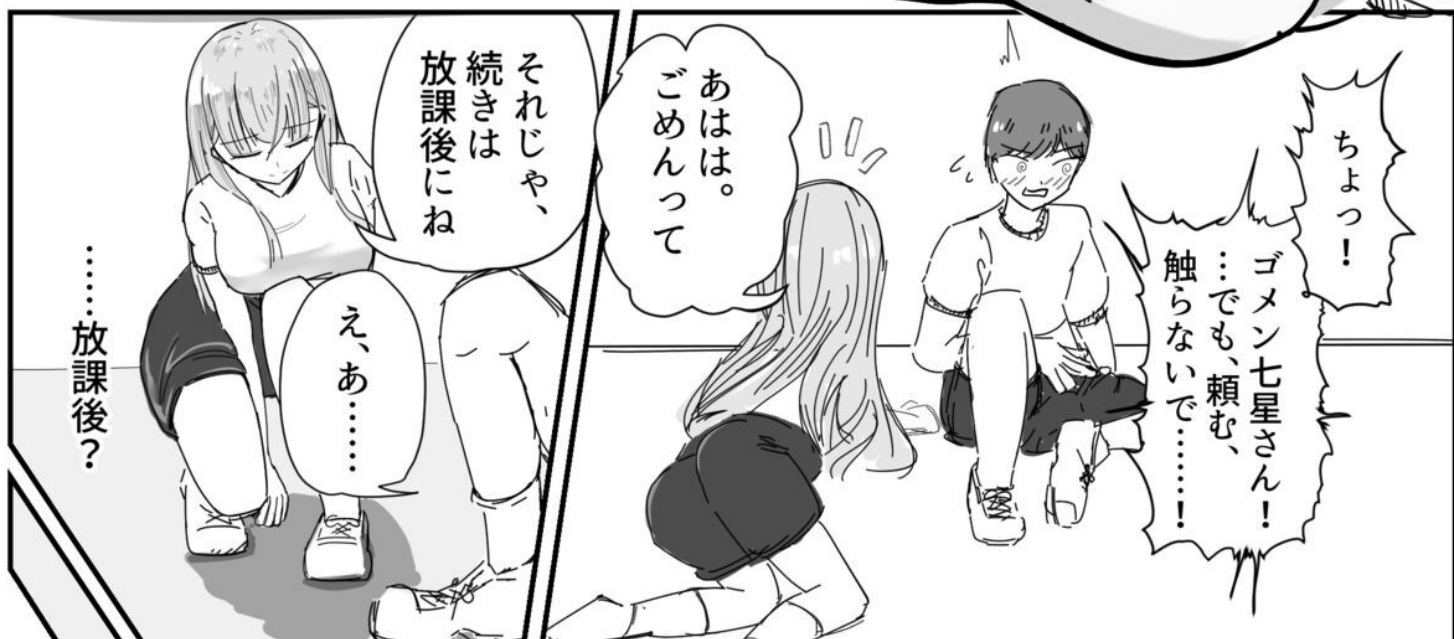
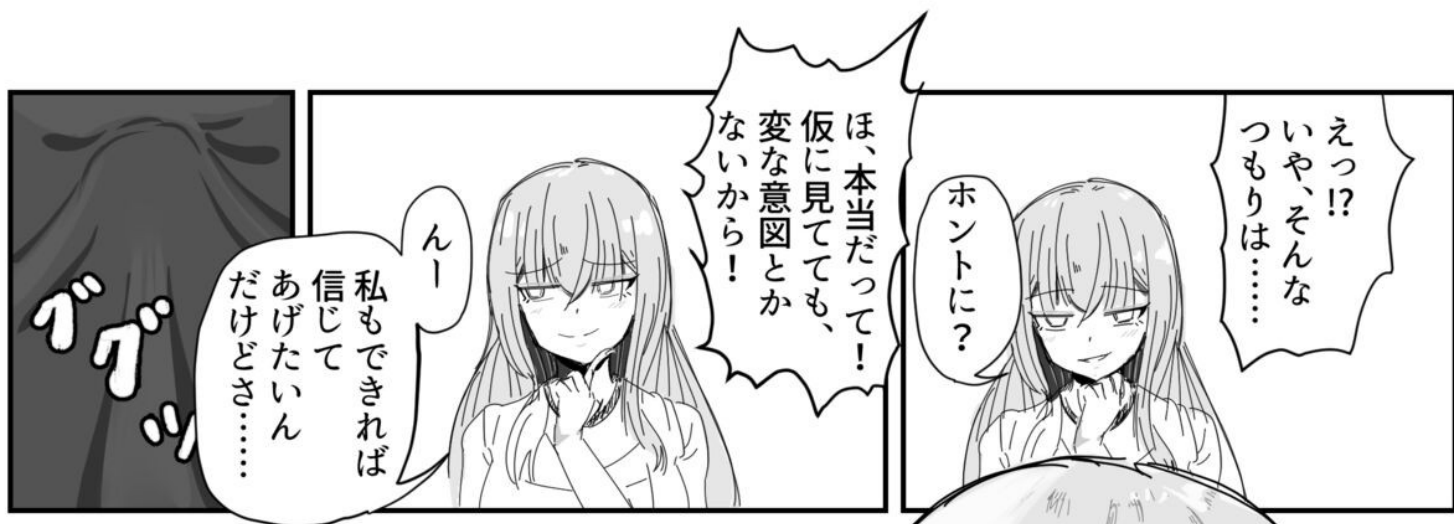
こっちも全然。
ってか実はまだ
ボールに
触ってすらない

ははっ
七星さんって
実は運動
できない系？

笑わ
ないでよ
酷いなあ…

…ところで、
守屋君
ずっと気に
なってたん
だけど…

なんか今朝から、
すーっごく視線が
いやらしくない？



……そうだ。
放課後は
空き教室で
七星さんと
話すんだった……

あれ……？
でも、何を
話すんだっけ？

さあ、私の
『操り人形』さん、
目を覚まして

わからない。
わからないけど……
いいか、別に……

『操り人形』の
キミの心には、
私の言葉が
すーっと
染みこんでいく……

気持ちいいね♡
その気持ちよさを
受け入れて

あなたは
これから……

もしかして、
私のこと見て
勃っちゃったの？

……いいよ、
私も興奮して
きちゃった♡



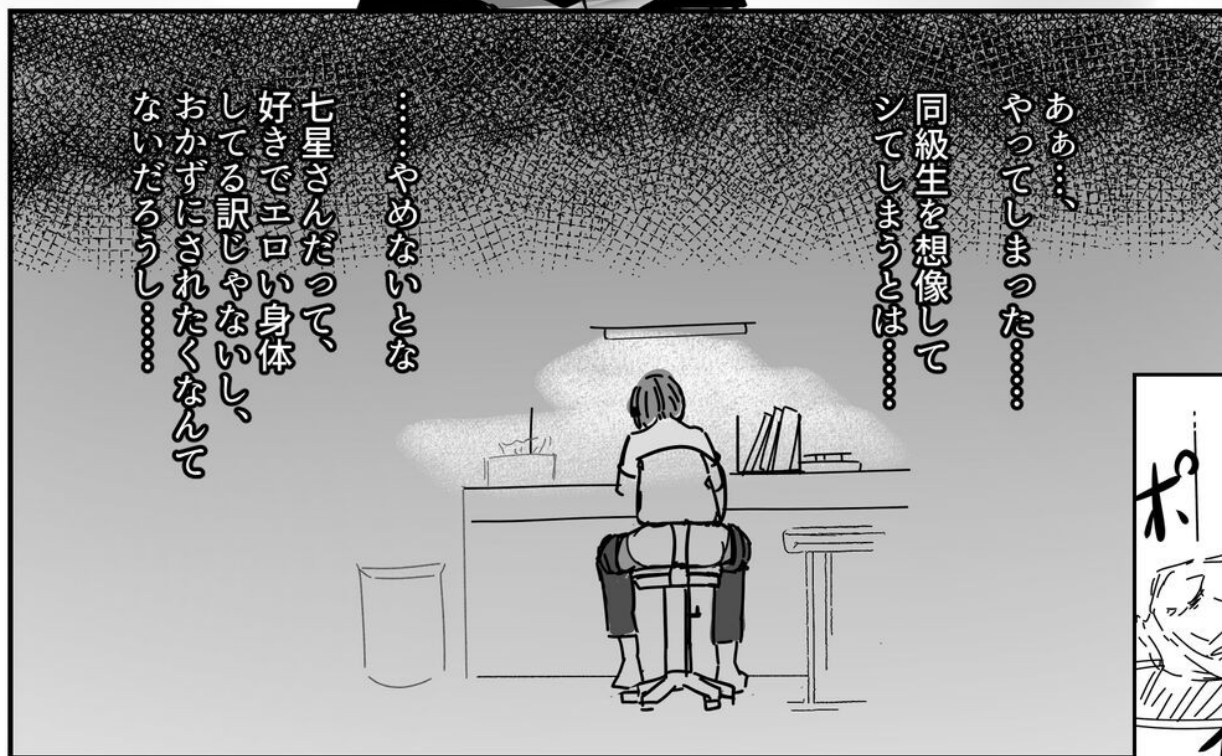


ふふ、やつぱり
胸ばっか見てる♡

ねえ、
キスしょ♡
気持ちいい方の
キス♡

私、実は
守屋君のこと
好きだったの♡

お願い、触って♡
私の胸、柔らかくて
気持ちいいでしょ♡



そうだ。
こんなことは
やめるべきだ…

…なのに！



水泳の授業
気持ちいいね

え？「近づくな」って、
なんで？どうして？
まずいことでもあるの？

ごめろん。消しゴム
落としちゃったあ♡
ん？
どこ見てるのかな？



え？
「パンツ見えてる」？
やだなあ♡
見ないでよ、えっ♡



毎日毎日、なんでそんなに
挑発的なんだよ……！

私を視姦して、
私で妄想して、
私でオナニーして♡

私のことを
考えた分だけ、
興奮して、
気持ちよく
なっていくから

「そんなのは
失礼」……？
やっぱ真面目
だね、キミは

安心しなよ

私はキミの性欲を
否定しないから

だから遠慮なく、
私の前では勃起した
恥ずかしい姿を
見せていいんだよ♡



やめるどころか、
その頻度は
増す一方
だった……



朝からダルいし、
気合い、
入れないと……

あ、七星さん……



よっ！

朝から眠たそうな
顔してるじゃん♪

遅くまで
勉強でも
してたの？

あ、はは……
そんな感じ

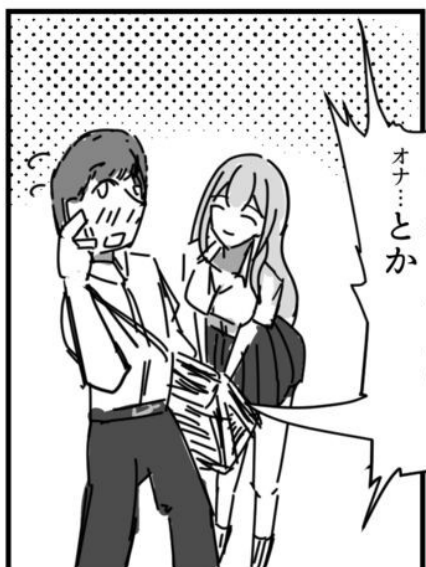
言えるわけないだろ、
オナニーが長引いて
寝不足なんて



そんなこと言って、
本当はオナニーでも
してたんじゃないの？

チラ

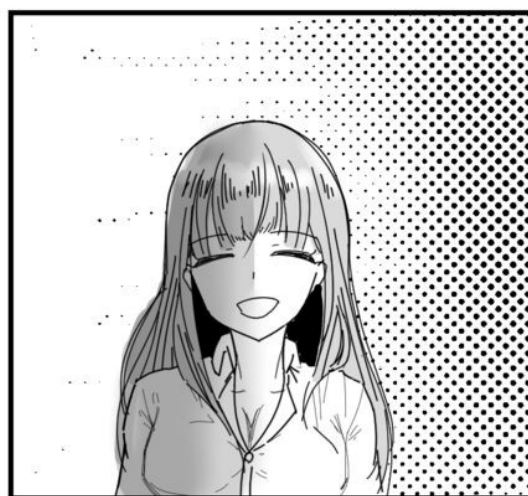
ちよつ、な、
なに言ってるんかさ
オナ…とか



あのさ

まさか、
嘘ついてたり
しないよね？

スツ



これ、
『真面目な質問』
なんだけど

えっと、その、
本当は、した…

ちゃんと言いなよ。
「何を」したの？

あ、あれ？
俺、なんで
こんなこと
正直に
喋ってるんだ…？

お、オナニーを、
した…



私の真剣な質問には、嘘をつけなくなる。

嘘、やっぱり罪悪感を覚えて、

正直に何をおかずに
してしたの？

私？

後ろ暗いことほど、

罪悪感
あ、うん……
七星さんで。

だって……ごめん……思

うのは、隠した方が

自分にとって都合が

いいからだよね。

それを正直に話さ

のは、とても不誠実

なこと。

なんで謝るのさ。
昨日は何回
したの？

そんな
1回だけ？

ないよわ

大丈夫、全
さ、3回、かな

嘘ついちゃい
すごく、
盛んだね

答えるのは『大事な質問』だけ。

簡単でしょ？

その3回は、
どんなこと
妄想して
イッたの？

……パンチラとか、
こないだの
水泳の時の水着
思い出したりとか、
胸を触る想像を
してみたりとか……

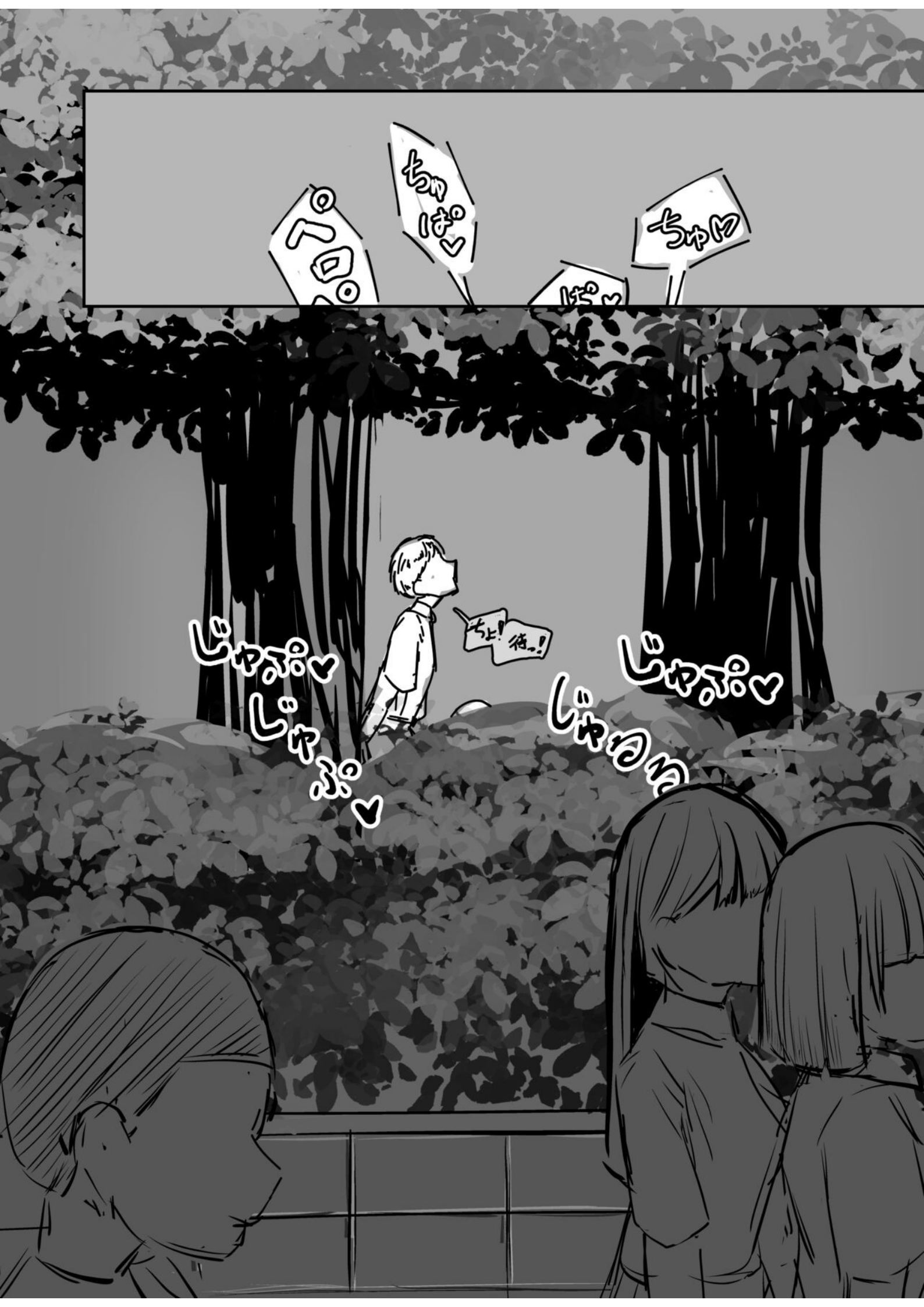
へえ？
フェラとか
セックスするのは
想像しないの？

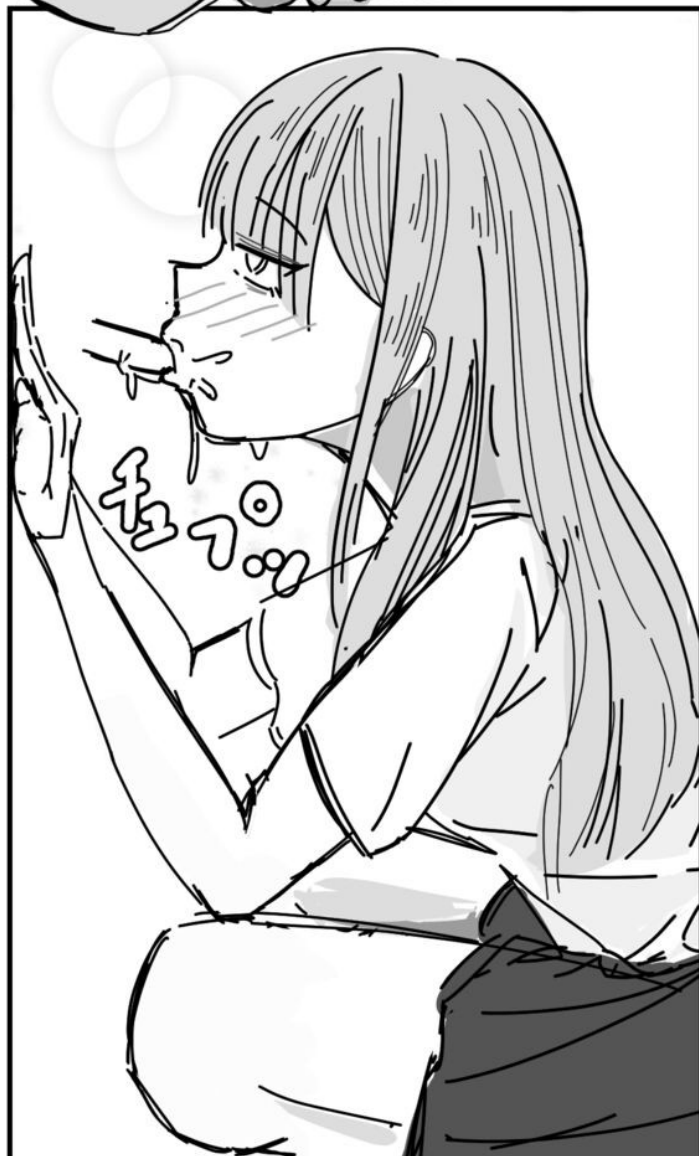
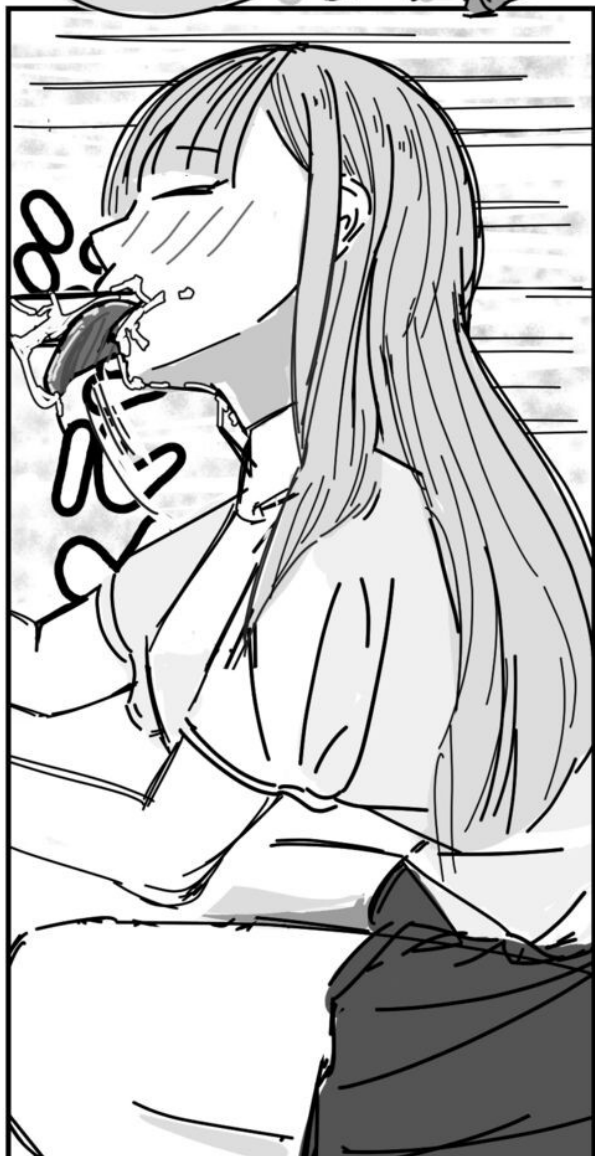
……あんま、
上手くイメージ
できないし……

あー。
ごめんごめん、
童貞だもんね♡

じゃあほらっ、
こっち来なよ！

えっ？







ちやうど

はも♡

な、七星さん、
これは、一体……

ぽっ♡



キーンユーン

あつ、予鈴

そろそろ
行かないと
遅刻しちゃう
んじゃない？

行かないとって
言われても……、
こんな状態で
行けるわけ
ないだろ……！

じゃ、
私先に
行くから

遅刻したら
また峰山さんに
怒られちゃうしね♪
ばいばい

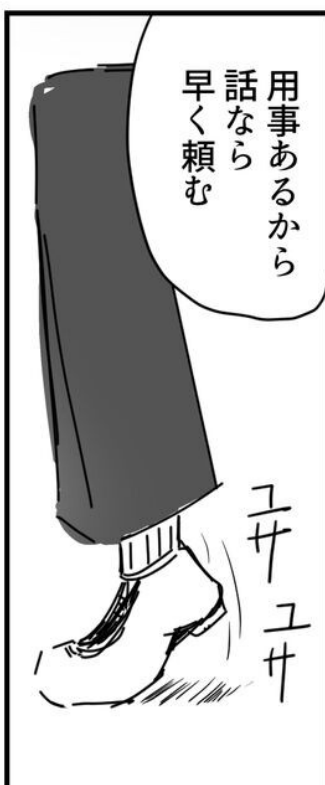
否が応でも
さっきの光景が
頭に浮かぶ

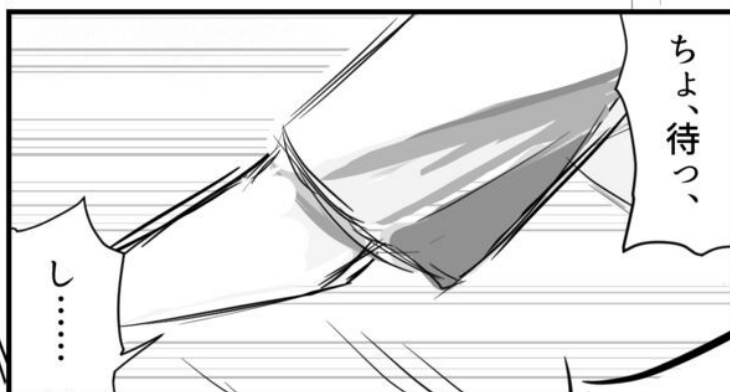
家なら1回
抜いてしまえば
収まるけど……

くそ……、
我慢するしか
ないよな。



そうだ…、早く
七星さんの
ところに……!







咲希を守るための
はずだったのに……

俺はただ、
お前のことが
心配なだけだよ

俺が七星さんと
会ってたのは、

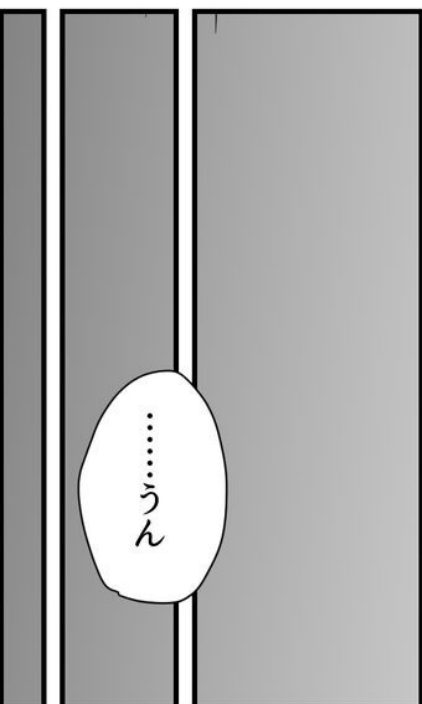


……あれ？

どうして話して
くれないの……？

どうしてそんな
冷たくするのさ……

俺、なんで
咲希を泣かせ
てんだ……？



……うん

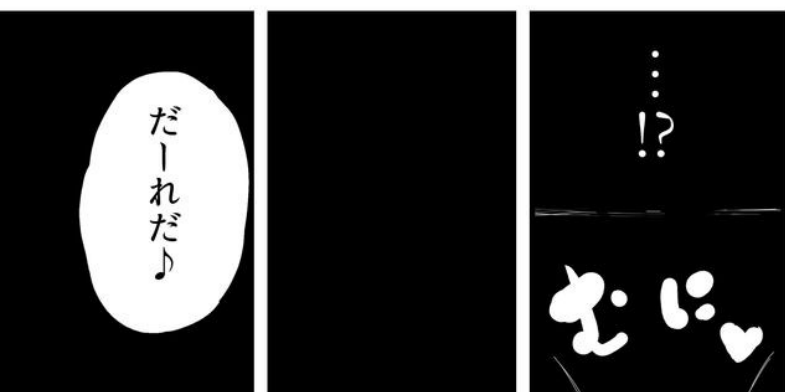


ごめんな、
俺の問題なのに、
心配かけて、
イライラしてさ……

でも、もう
大丈夫だから。
咲希のおかげで
頭が冷えたよ



咲希のおかげで、
俺は冷静になれた。
だけど……



だーれだ♪

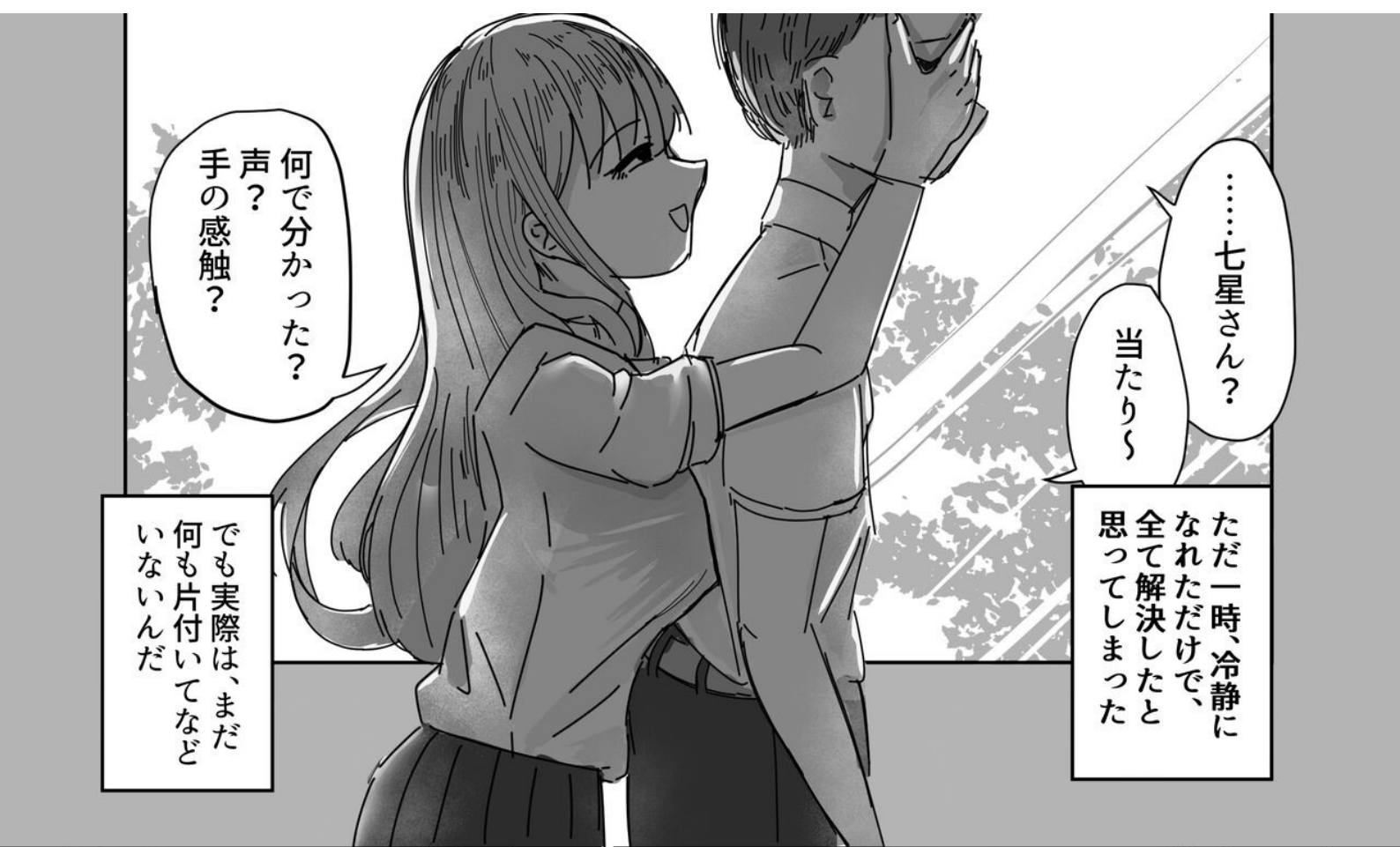
……!?

おに♡



ここしばらくの俺は
どうかしてた……

咲希には、まだ改めて
謝らないとな……



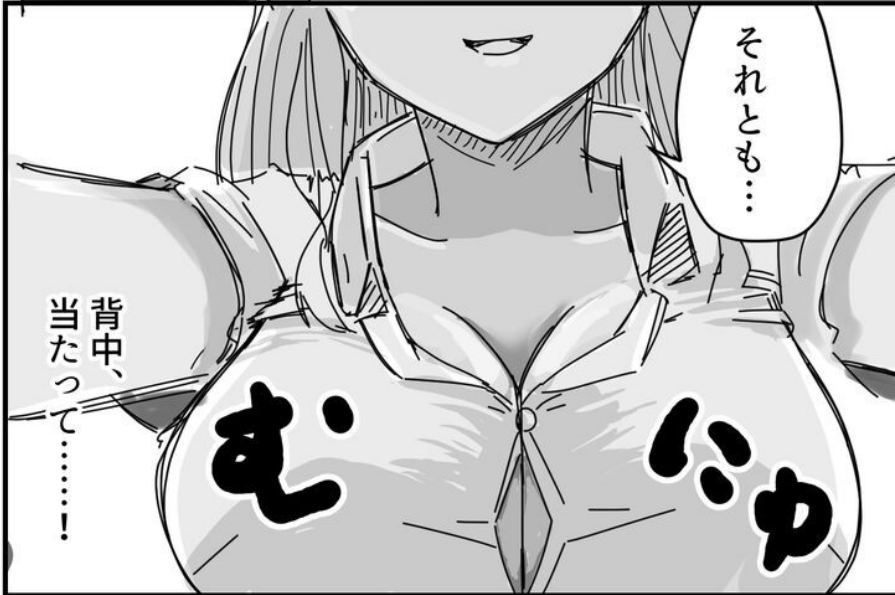
……七星さん？

当たり〜

ただ一時、冷静になれただけで、全て解決したと思ってしまった

何で分かった？
声？
手の感触？

でも実際は、まだ何も片付いてないんだ



それとも…

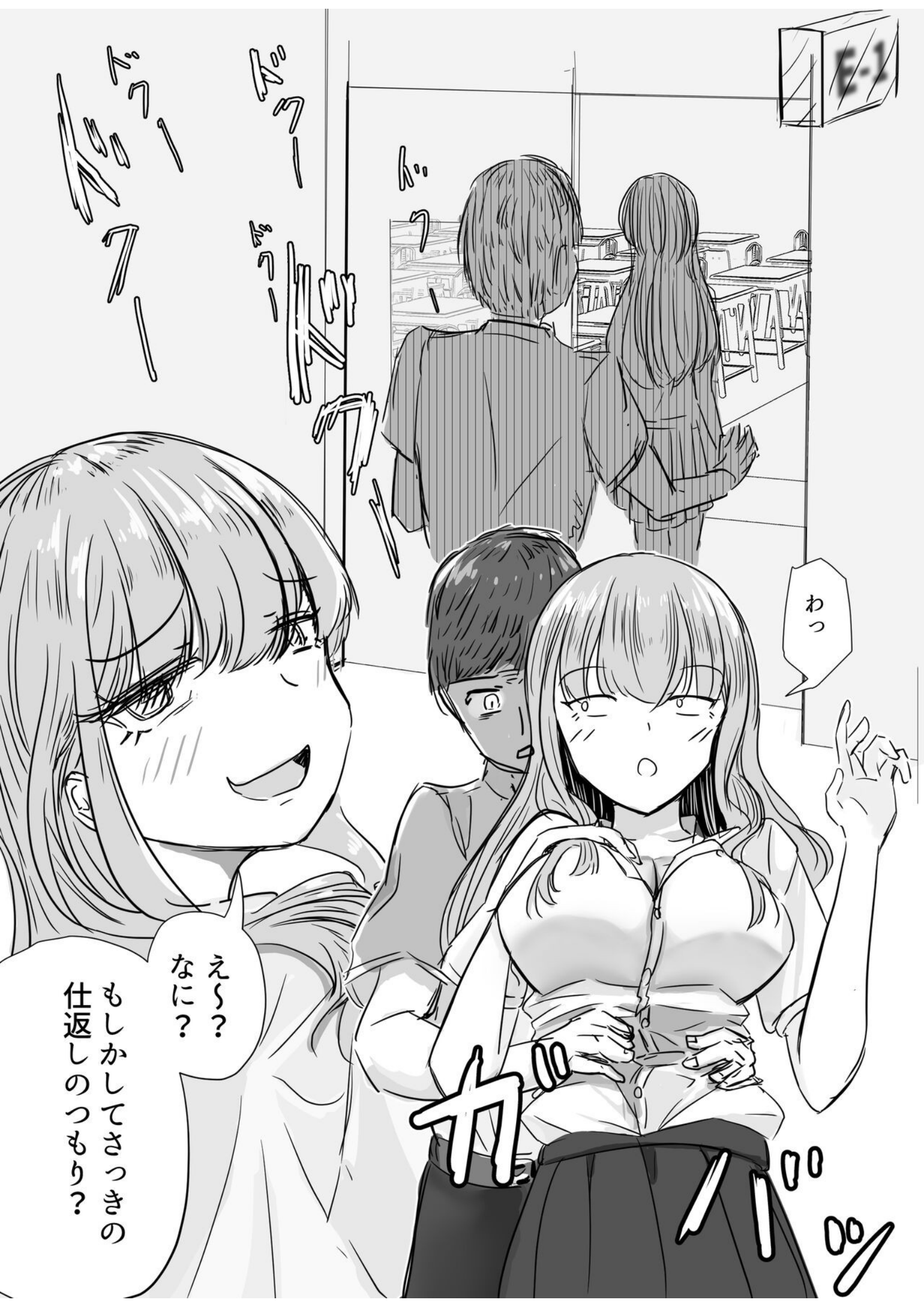
背中、当たって……！



行こっか
空き教室

俺の中で育った欲望は、まだ何一つ満たされていないのだから…

あは♡
こんなところで興奮してたら、みんなにバレちゃうね♡



わっ

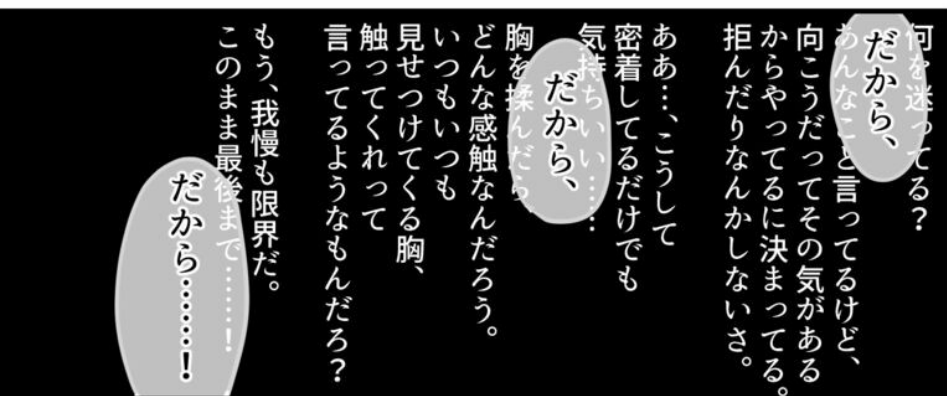
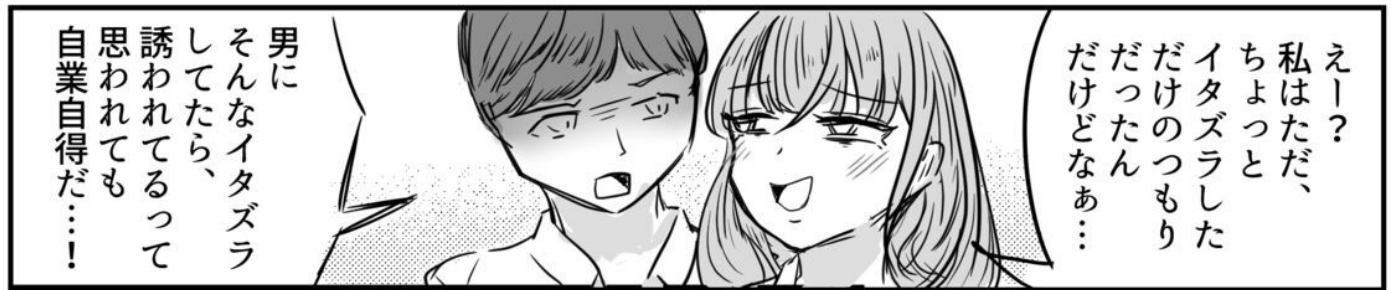
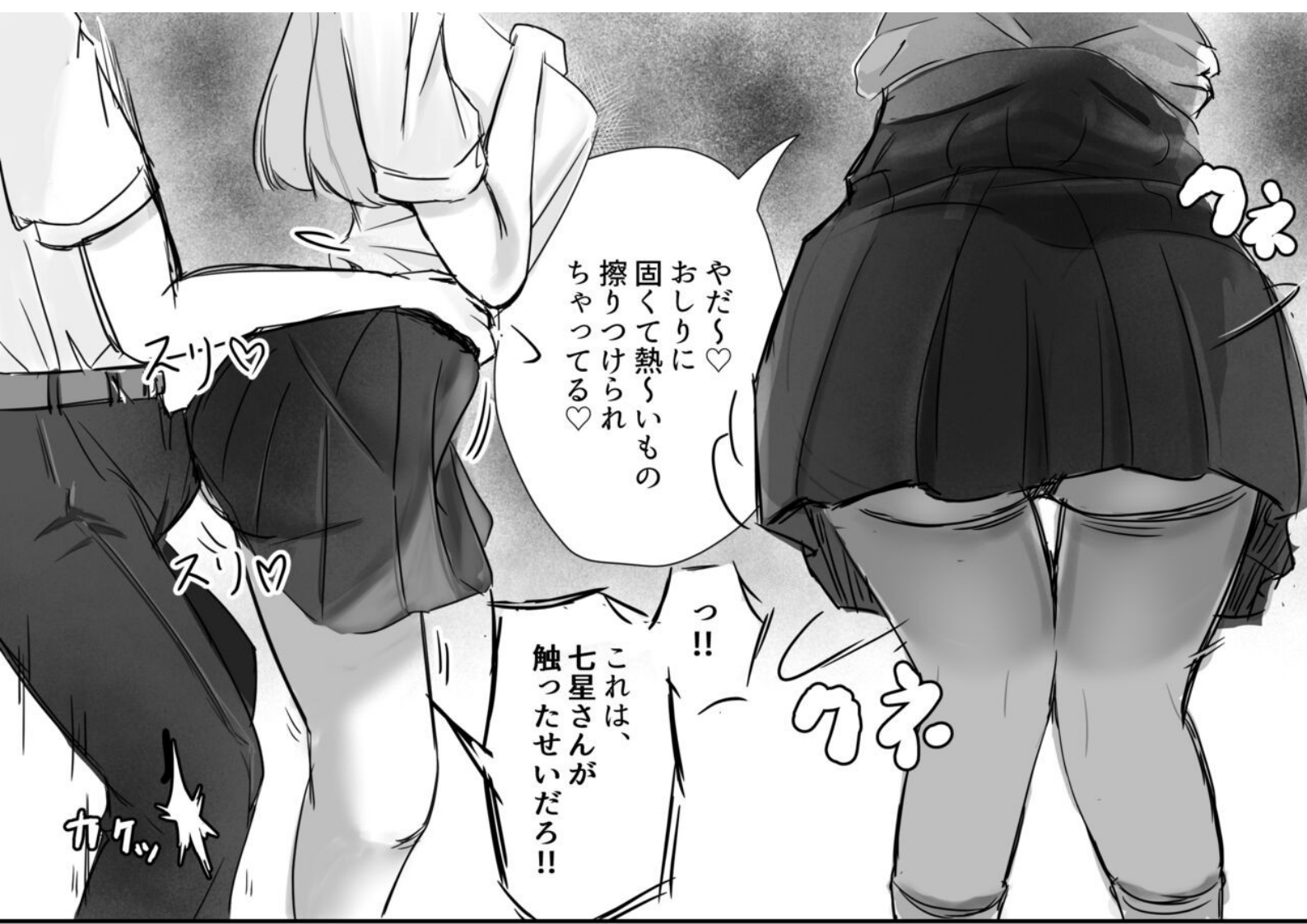
えろ？
なに？

もしかしてさっきの
仕返しのもり？

カッ

ッ

ッ





だから……、

もう……



やっぱり俺は、
どこかおかしく
なっているみたいだ



もう、
これ以上、誰も
傷つけるな……！

こういうのは
終わりにしよう



……っ！

これ……
前に妄想したのと
同じ……



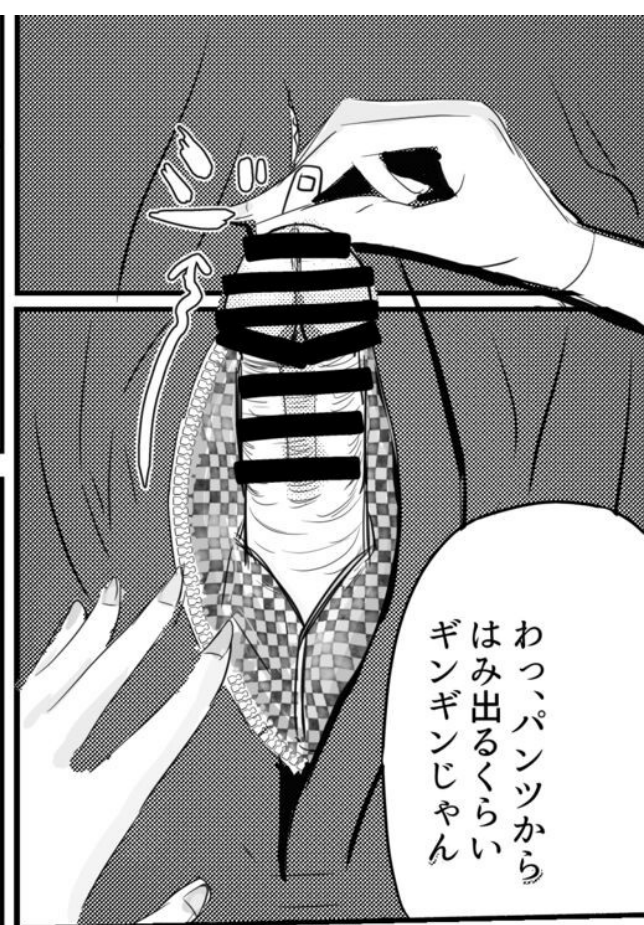
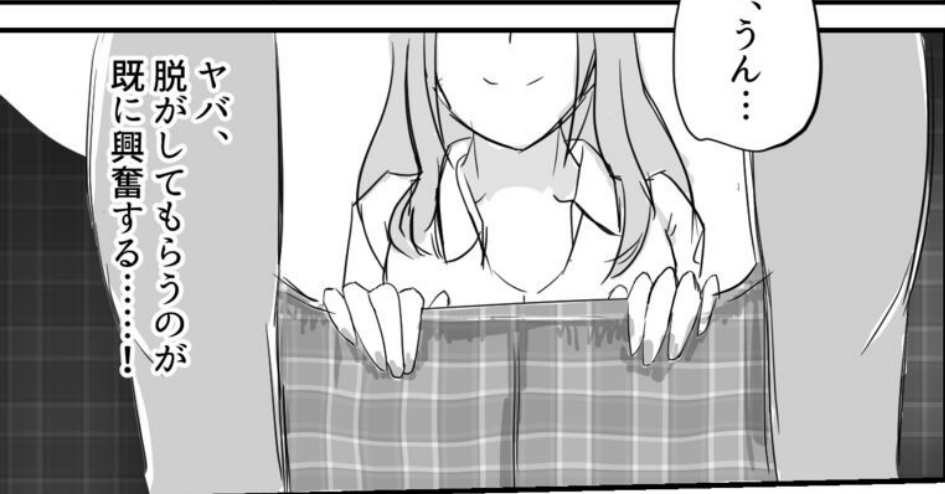
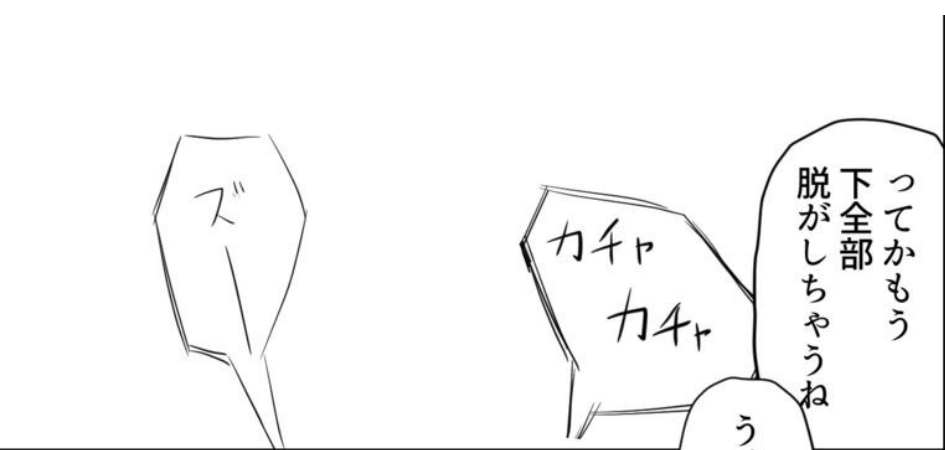


あーあ、
言っちゃった

いいよ











キミ、
好きな子がいるのに
こんなことしていいの？



な、七星さん……？



そういえば、
一つ聞き忘れて
ただ……



え？
…え？

守屋君さ、
峰山さんのこと
好きでしょ。
もちろん
恋愛的な意味で

え、その…

いいからさっさと
正直に答えなよ



……っ！
好き、です……

へ？
それなのに、
私におちんちん
触られて気持ち
よくなってるんだ？

……っ、
また、つい、
正直に……！

じゃあさ、
峰山さんには
こうやって
告白する？

『俺にはちんちん気持ちよく
してくれるセフレが
いるけど大好きです！
付き合ってください！』って

そ、そんなこと
しな——ぐぐ！

っていうかそもそも、
本命の女の子がいるのに
私に手を出したんだ

それって私にも
失礼だと、
ちよつとは
思わなかったのかな？
シヨック……

ち、違っ——！

違う？
何が違うの？

現に今キミがしてる
ことは、私と峰山さん、
二人を蔑ろにした、
独りよがりな
最低の行為だよ

違う、違んだ……！

俺は……！
そんな
つもりは……！

じゃあ、ここで
やめてもいい？

ちんちんパンパンに
したまま我慢して、
これから先も
一人でシコシコ
するだけ満足？

いや、我慢だ……
「やめる」って
言わないと……

言え……

言うんだ……！！

やめて……
欲しくない……



確かに、中途半端な
気持ちでこんなこと
しちゃいけない
と思う……

だけど、おかしいんだ……
七星さんを見ると
頭の中いっぱいになって、
気持ちよくなりたいのを
耐えられないんだ……!!

ああ、どうして……
なんで
言っちゃうんだ……!?
本当のことを……!!

……

どうして、
私に欲情しちゃうん
だろうね？

どうして、その気持ちを
峰山さんのために
我慢できないんだろうね？

それは……、

俺が、性欲に負ける
自分勝手な奴だから……

違うよ

それは、
『私のことが好き』
だからだよ♡

……？
俺が、
七星さんを……、
好

つらかったね、
苦しかったね、
不甲斐なかったね
悔しかったね、
でも気持ちよかったね

大丈夫……。
『操り人形』の
キミは、私が
救ってあげるから

操り……？

なん

ギュ♡

安心して。
キミは私を
ただの性処理の道具、
オナホ扱いするような
酷い人じゃないよ
じゃあどうして
私とセックス
したいなんて
言っただろう？

……わかるよね？

『キミが私のことを
好きだから。
峰山さんより私を
選んだから』でしょ？

キミは誠実に好きな子と
セックスしてるだけだし、
私も愛のあるセックスが
できて嬉しいな♡
峰山さんには……、
まさか好きな子がいるのに
告白なんてしないよね♡

ほら、
心に刻みつけなよ♡

好き

好き

好き♡

キミは七星香織の
ことが大々好き♡

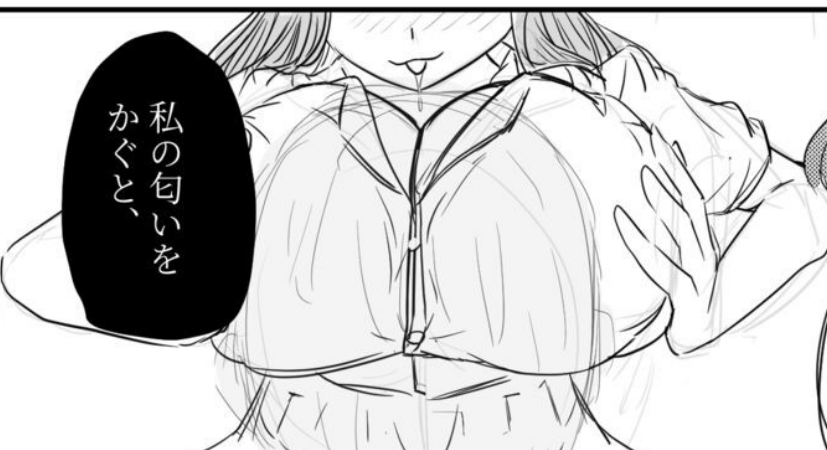
スリ♡ スリ♡



私を見ると、



私の声を
聞くと、



私の匂いを
かぐと、



私の身体に
触れると、

もうドキドキが
抑えられないね♡



さあ、目を覚まそうっか

目を覚ましたら
ここで言われたことは
忘れちゃうけど、
変えられた価値観は
二度と元には
戻らないからね……

ほら、
3, 2, 1……

七星さん、
いつの間に
膝の上に……

おはよう
守屋君

う…、
あれ……？
俺、
いったい……

え、なにそれ。
ひどく

あ、ごめん、
ボーツとして……

いや、
ゴムないって
言っただじゃん

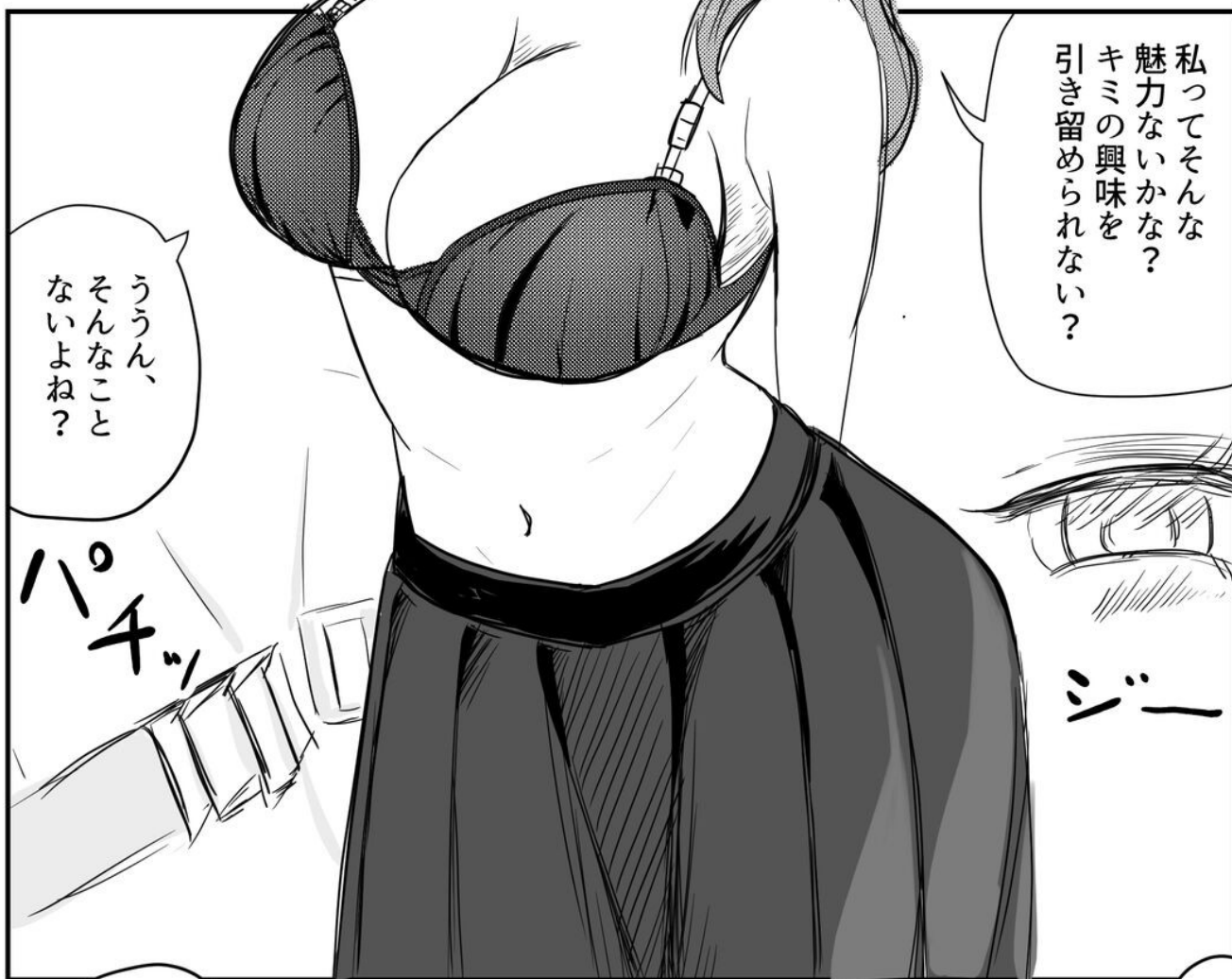
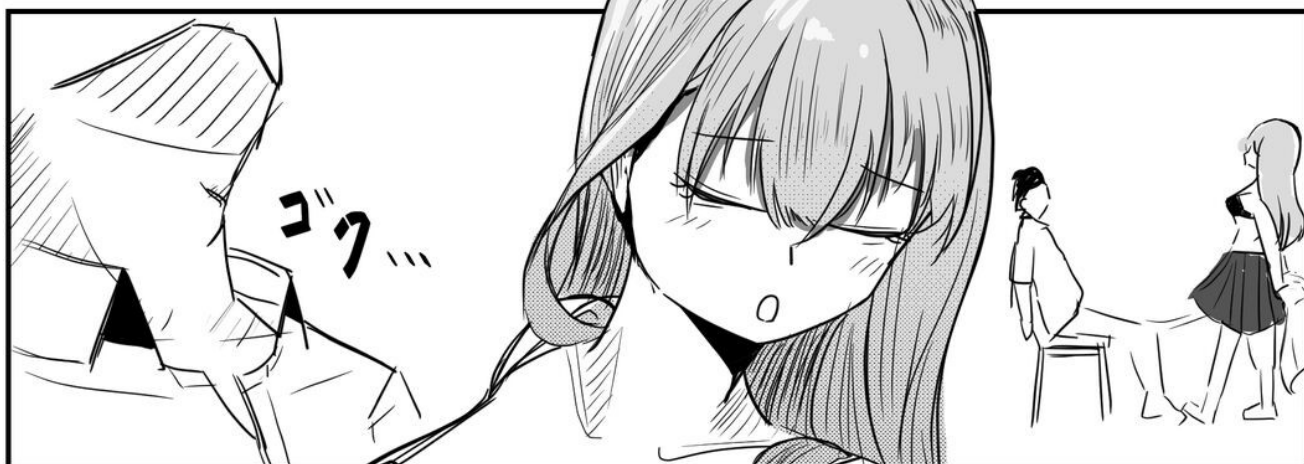
って、え!?
もしかして
挿入って……!!?

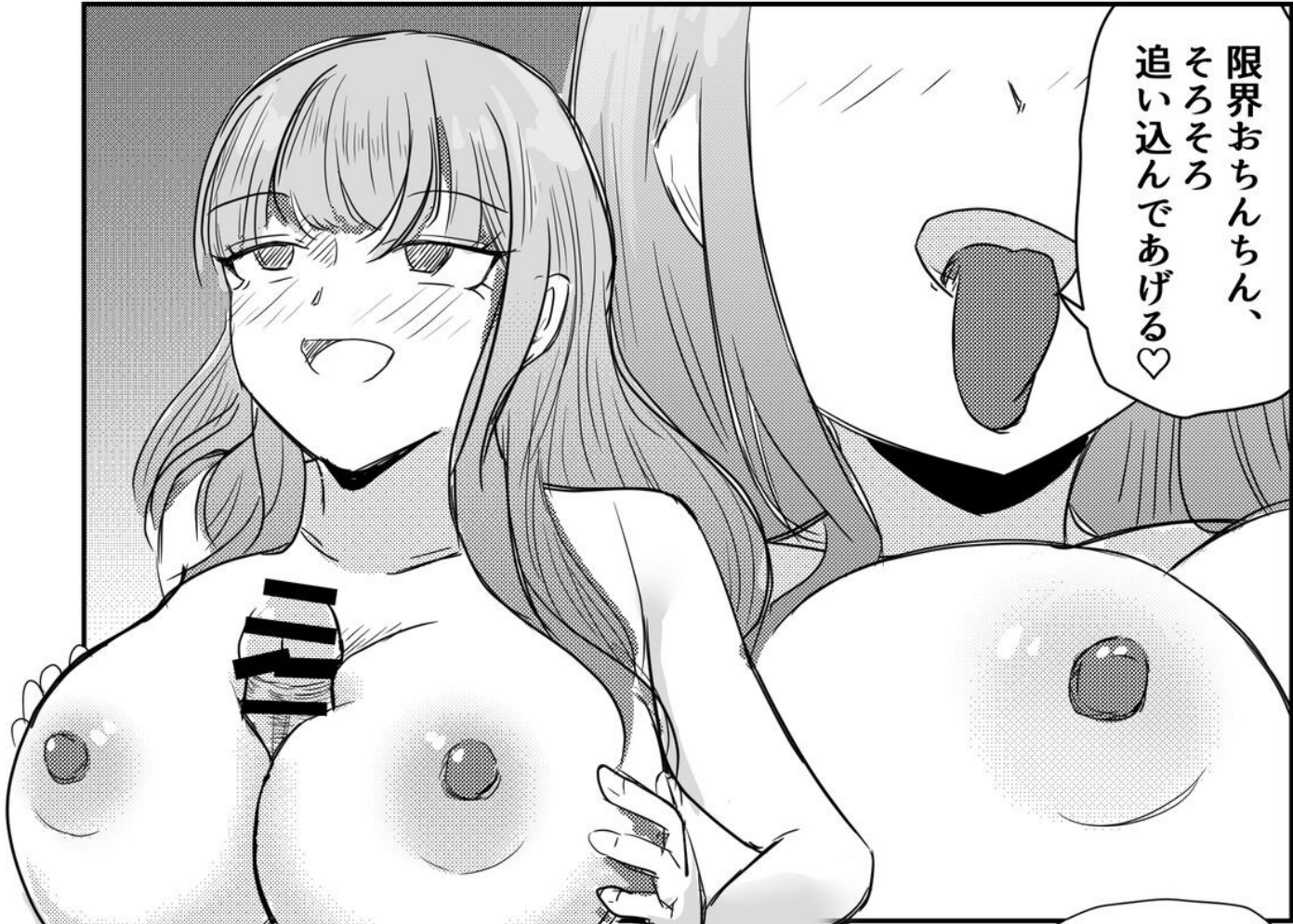
ズリ

ズリ

フキ

フキ





限界おちんちん、
そろそろ
追い込んであげる♡

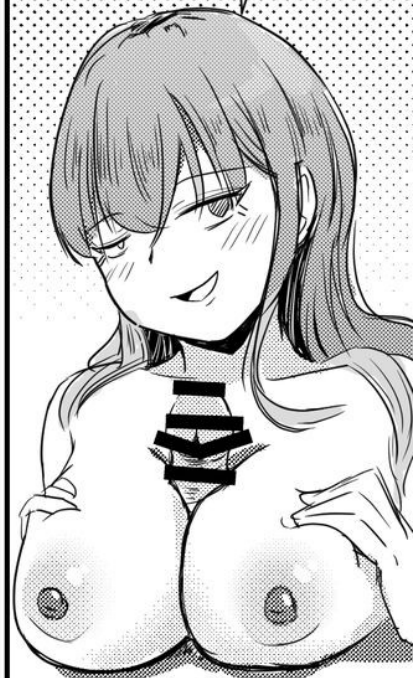
面白いよね。
ちんちんへの
刺激で言えば、
手コキの方が
強いのに、

こっちの方が
ドキドキして、
すぐに頭も
ちんちんも
ドロドロに
なっちゃう♡

それは、
七星さんが
してくれる
からで……

うんうん♡
私くらいの巨乳なんて
そうそう居ないもんね♡

いや、そうだけど、
なんだろ……？
それだけじゃなくて……



ただ気持ちいい
だけじゃない……

心が暖かく
満たされるような……

ドク

ドク

もうイキそうだよね？
でももうちょっと
我慢だよ♡
最後は……

ほら、
飛び散らないように、
口の中に射精して♡

朝からずっと
我慢してたから

啜えた瞬間
射精しちゃうかもね♡

唇も舌も
柔らかっ……

舌が気持ちいいところに
執拗に絡みついてくるっ

ダメだ……っ！
ほんのちよつと
動いただけなのに……！

チュ♡

くちゅ♡
くちゅ♡

くちゅ♡

七星さん、
もう、イク!!

ジュル
ジュル
ジュル
んふっ

アッ♡

ト

んっ

ト

んっ



てゆーか？
どっちかって言うとならぬ
毎日オナニーしてるって
言ってるに、
こんな濃い精子
いっぱい出した方に
驚いてるんだけど？

そんなに
気持ちよかった？

そりゃ、
七星さんは
なんか色々
上手いし……
か、可愛いし……

ありがと♡
私も気持ちよくなって
もらえて嬉しいよ♡

ドキッ

ドキッ

ドキッ

射精したのに、
まだ気持ちの
昂ぶりが収まらない……

「最近の俺は、
何かおかしい」
そう思っていた
けれど、これは……
この気持ちは……

俺は今まで、
「それ」はもっと
綺麗なものだと思
っていた

今日まで、長かったな……。

催眠に違和感を
持たれないように、
拒否されないように、
小さなところから
変えていくしか
なかったから

だから性欲とか、
邪な思いにまみれた
今の気持ち
そうだと
思わなかった。
だけど、もう
気づいてしまった……

気持ちよさをエサに
徐々に性欲を高めて、
それを私に向けさせた。
現実での誘惑で
心を揺らして、
催眠で更に欲を刺激する。
やがて理性と本能の
天秤は壊れて、
キミは、キミの理性に背く
間違いを犯した。
その間違いを正すために
キミは……

ああ、これが、
本当の恋なんだ……

偽物の恋心を
受け入れちゃった

もう逃げられない
もう覆らない

キミはこれから、
私に嫌われたくない
一心で、たくさん
「お願い」を聞いて
くれるんだろうな……

サッ

……帰ろっか

それからというものの、
七星さんとのセックスが
俺の日常となっていく…

七星さん…
いきなり女の子から
入れてもらうのは、
その…

無理して
格好つけなくても
いいって♡

童貞
なんでしょ？

うっ……
痛いところを……

あはっ♡

ほら、これが今から
ちんちん食べちゃう
私のまんこだよ？

よく目に
焼き付けてね♡

こうやって
入り口に当てて……

ピ
ト

力をかけていく……

と！

ブ
ブ

はい♡
童貞卒業
おめでと♡



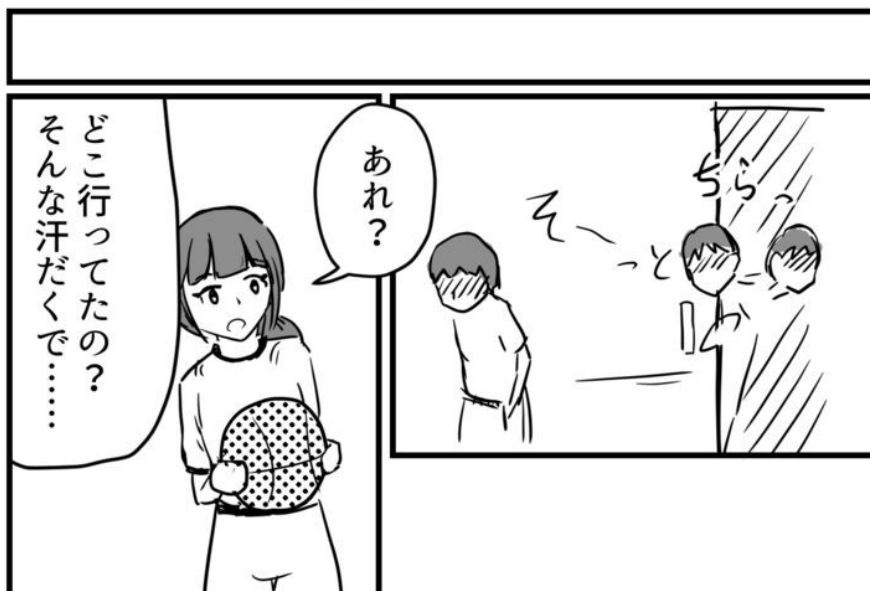
少し慣れてからは、
放課後だけでなく
人に隠れて
することも……

いいの!?
壁の向こうでは
みんな授業中なのに
気持ちよくなってる!

し、静かにつ……
というか誘ってきたのは
そっちでしょ……!!

うん、そうだよね♡
こんな状況なのに、
誘われたらおちんちん
気持ちよくすることしか
考えられないだもんね♡

ま、いいじゃん♡
これもスポーツ
なんだ……しっ!!



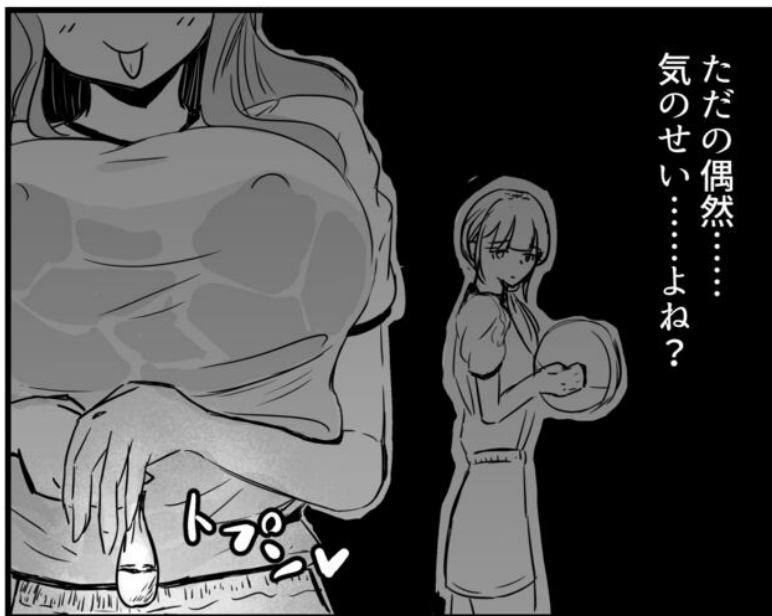


あれ？
確か、七星さんも
試合してなかった
はずなのに
汗だけで……



ど、どうか
したか……？

あ、ううん、
なんでも……



ただの偶然……
気のせい……よね？



七星さんの言葉には
不思議な魅力があつて
時々どうしようもなく
抗えなくなるけど……

ねえ、
イメージして

キミが峰山さんに
抱いてる恋心、
それを今から
精子に込めるの

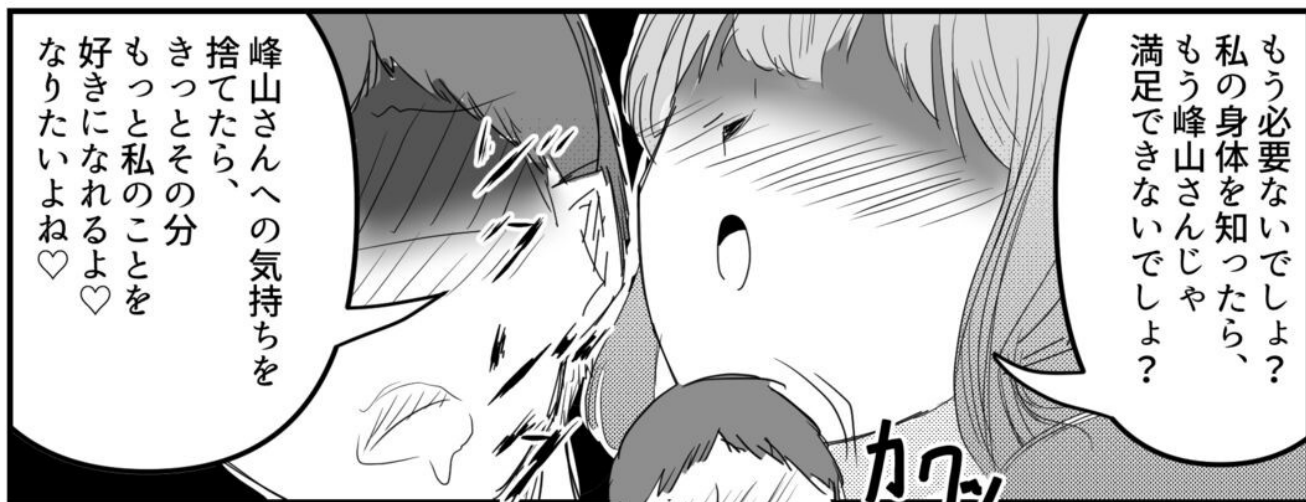
その精子を
びゅーっと
吐き出すと、

恋心を込めた分だけ、
捨てた分だけ、
いつもより気持ちよく
射精できるよ♡

わかるよね♡
想像しただけで
興奮しちゃうよね？♡

ほら、
こっち♡

ゴミ箱めがけて
恋心
コキ捨てちゃお♡



もう必要ないでしょ？
私の身体を知ったら、
もう峰山さんじゃ
満足できないでしょ？

峰山さんへの気持ちを
捨てたら、
きつとその分
もっと私のことを
好きになれるよ♡
なりたいたいよね♡



はーい♡
イツちやつえ♡



これでいいんだ…
俺にはもう、
七星さんのいない
日々なんて
考えられない……

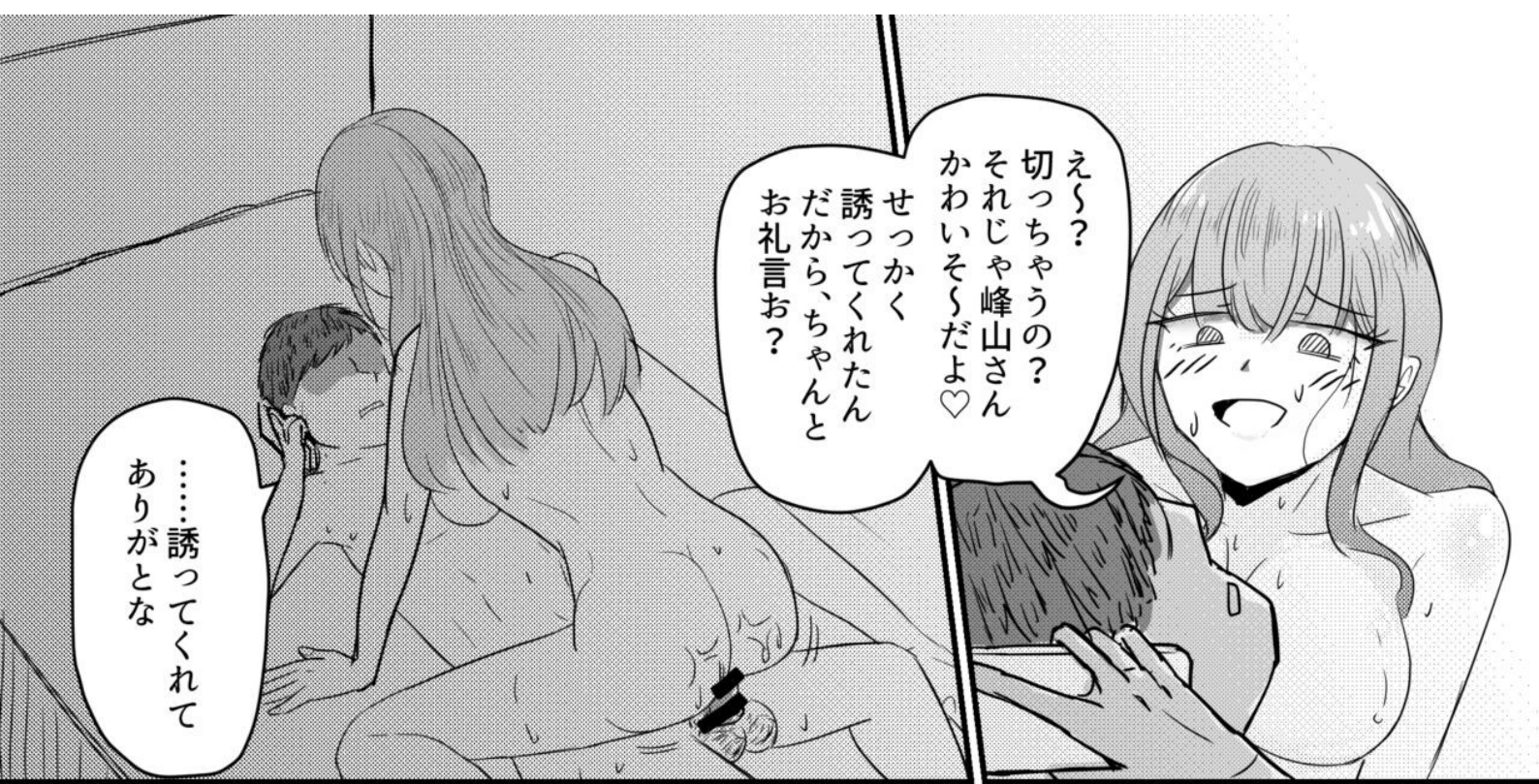
でも、いっぱい
気持ちよくなれたから
幸せ、だよね♡



うわー、
いっぱい出たね♡
大切な想い、
いっぱい
捨てちゃったね♡

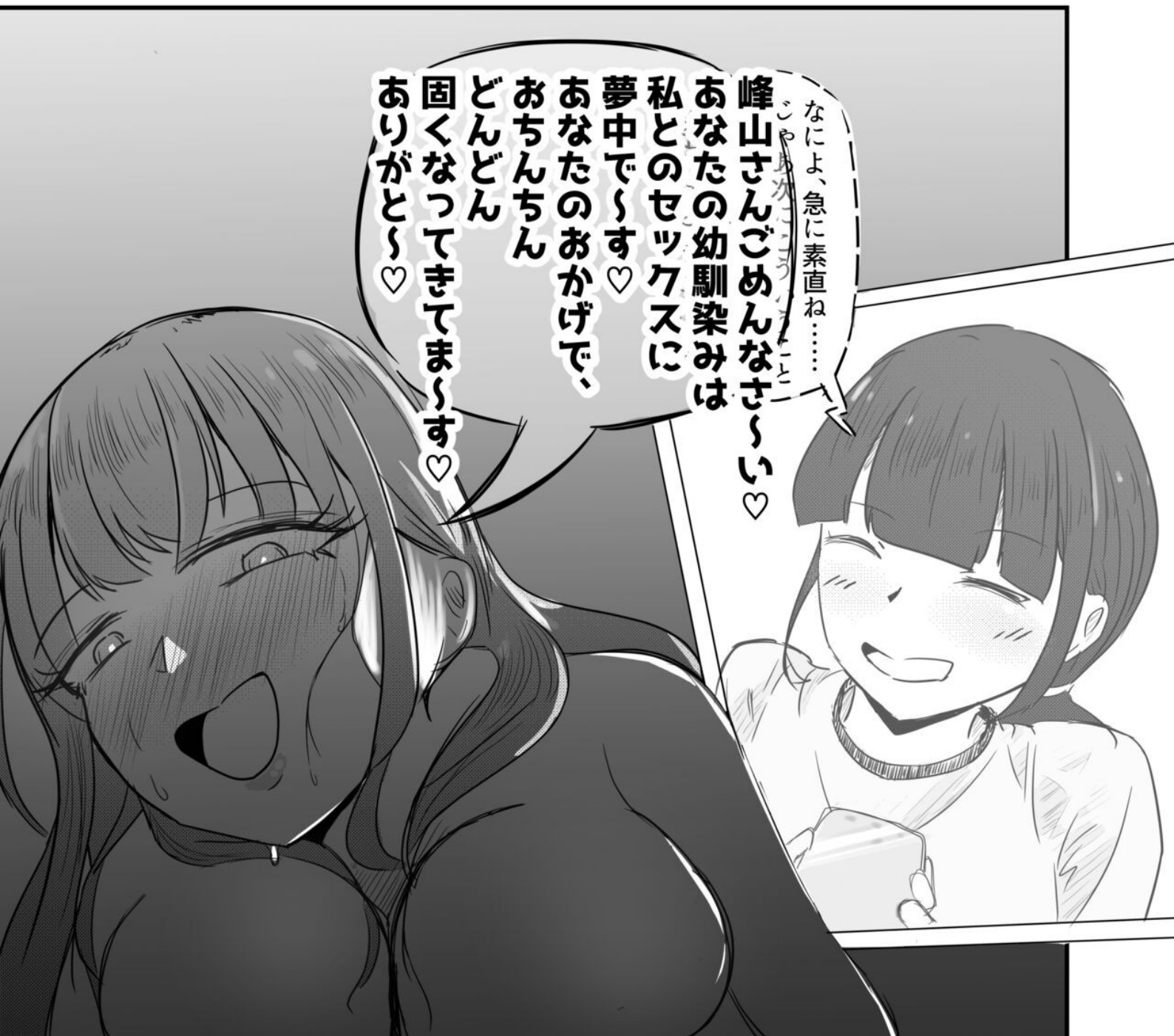






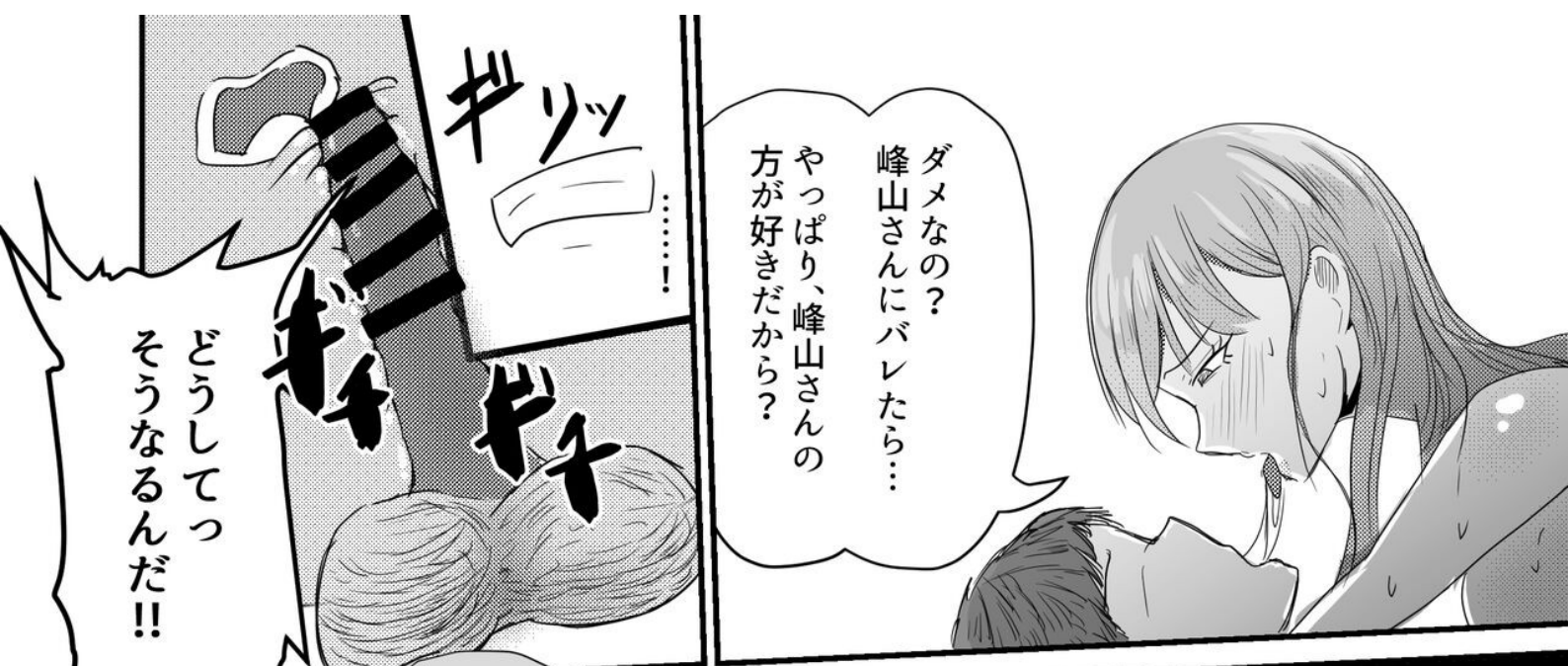
えろ？
切っちゃうの？
それじゃ峰山さん
かわいそくだよ♡
せっかく
誘ってくれたん
だから、ちゃんと
お礼言お？

……誘ってくれて
ありがとな



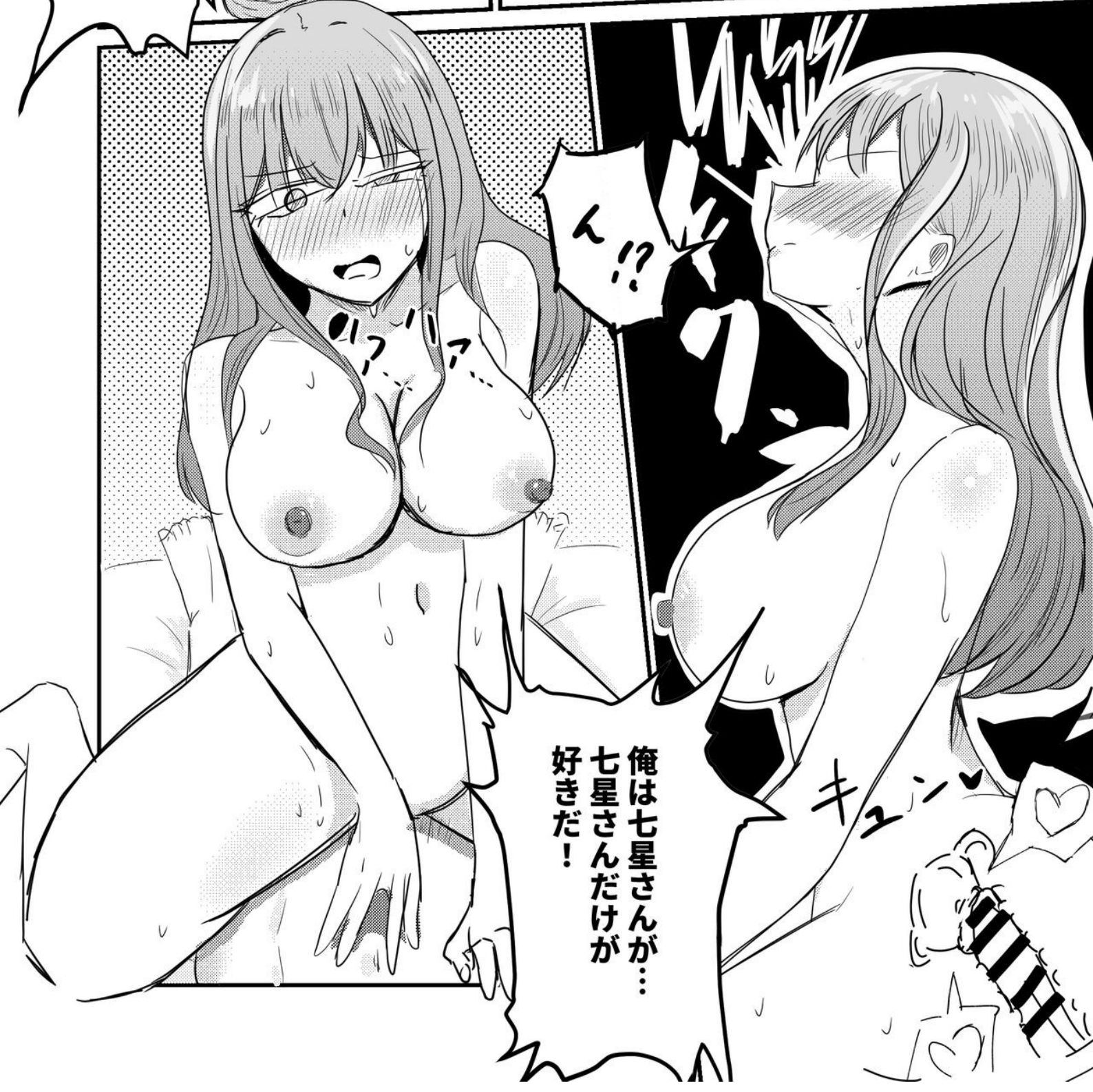
なによ、急に素直ね……
峰山さんごめんなさ〜い♡
あなたの幼馴染みは
私とのセックスに
夢中で〜す♡
あなたのおかげで、
おちんちん
どんどん
固くなってきてま〜す♡
ありがと〜♡





ダメなの？
峰山さんにバレたら…
やっぱり、峰山さんの
方が好きだから？

どうしてっ
そうなるんだ!!



俺は七星さんが…
七星さんだけが
好きだ!

キュン



ゴッ

ギッ

グッ

ねえ、いいの?

グッ

私、キミが
理想に思うような
綺麗な人間じゃないよ？

ワガママだって
沢山言うよ？

それでもいいなら、

私の名前を呼んで……

好きだ、香織……
俺と、付き合っ
てください……！！

……うん♡

お願い、陽一君♡
気持ちよくして……♡

ああ。いくよ、
香織……！！

あ、
ところどころ……

これは
『操り人形』である
キミの無意識に
話しかけてるから

そのまま
聞き流して欲しいん
だけど……



キミはこれから
私に『好き』って
言われると、

どうしようもなく
気持ちよくなる…

脳がありったけの
快樂物質ひねり出して、
幸福と気持ちよさで
バカになっちゃうの♡

♡あゝ♡

だって、キミはもう
私の彼氏だから♡

彼女に『好き』って
言われたら、
嬉しいのは
当たり前だもん♡

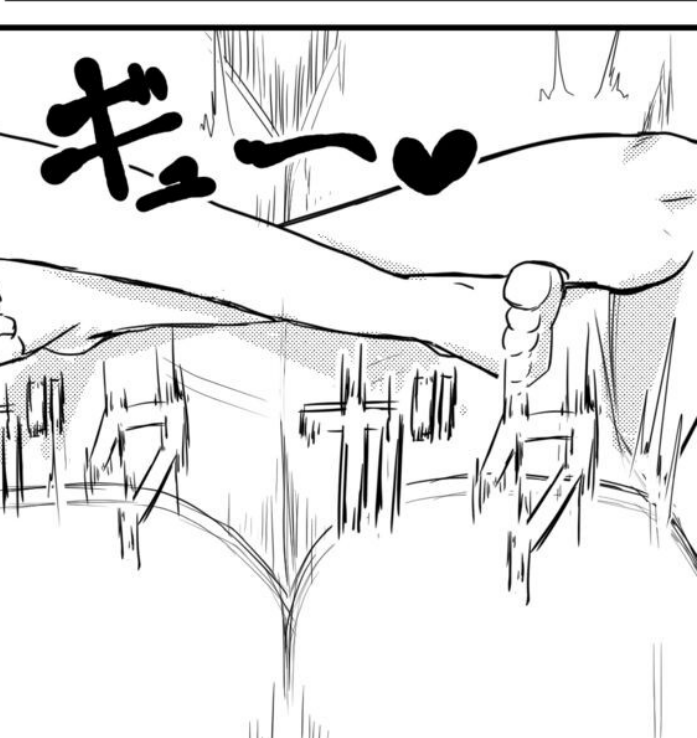
本望、でしょ？
だってキミは
気持ちよさに負けて
ここまで堕ちて
来たんだから……
もっともっと、
気持ちよくなりたいよね♡

グ
ルニ

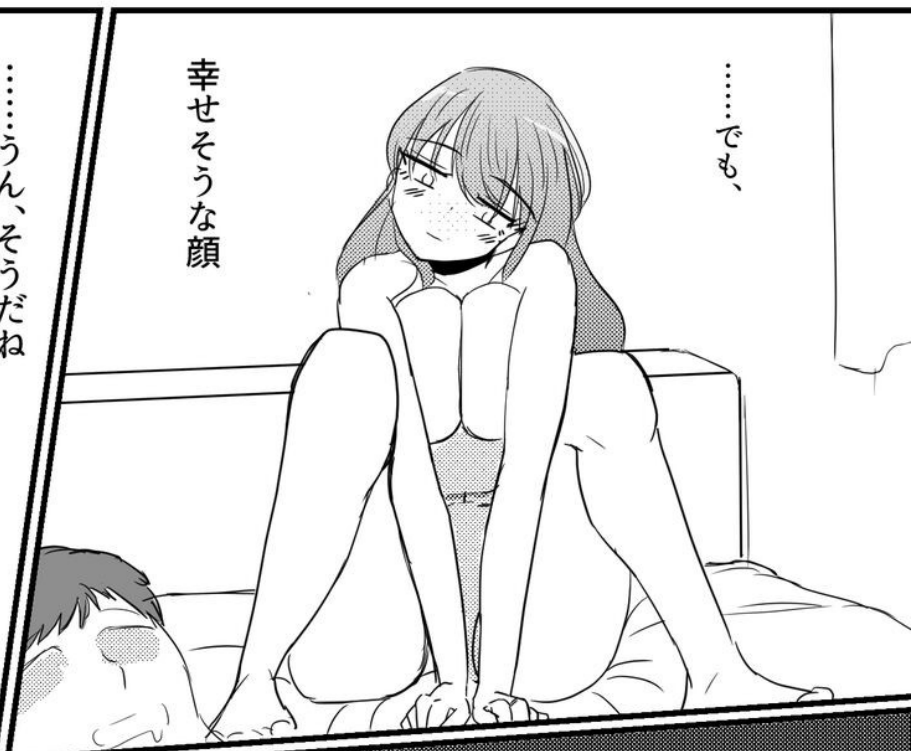
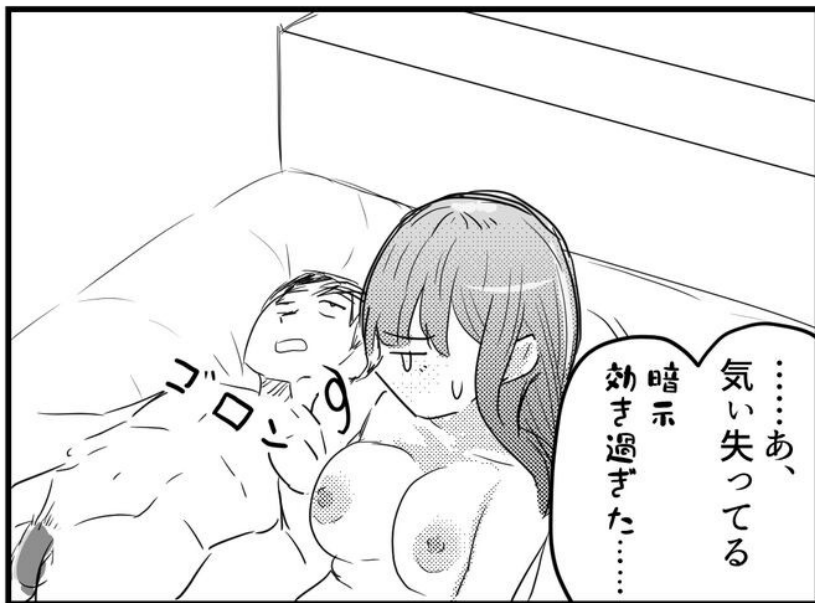
グ
ルニ



陽一君、
……好きだよ







大切な幼馴染みを裏切って

悪〜い
女の子に
恋して
しまう話



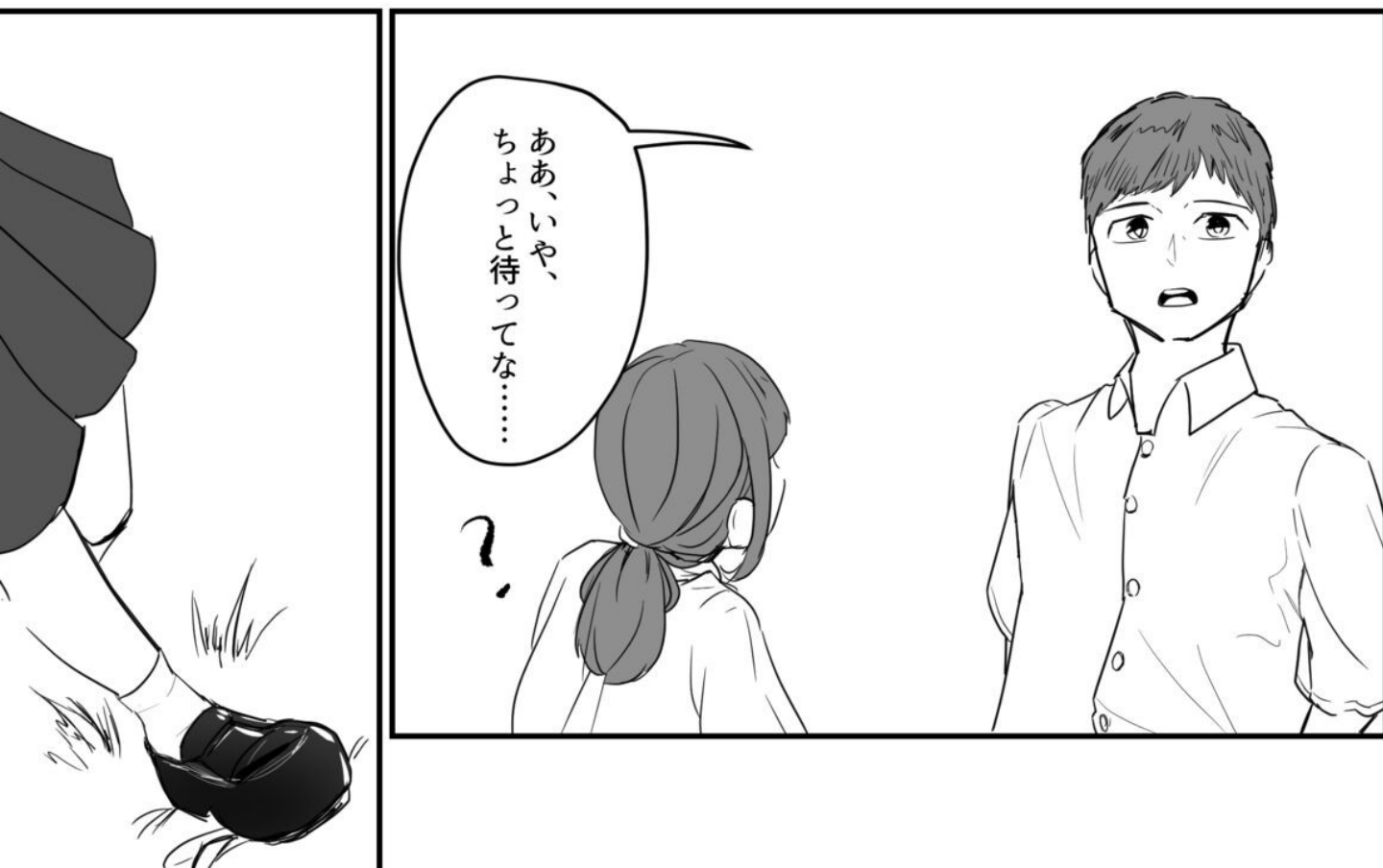
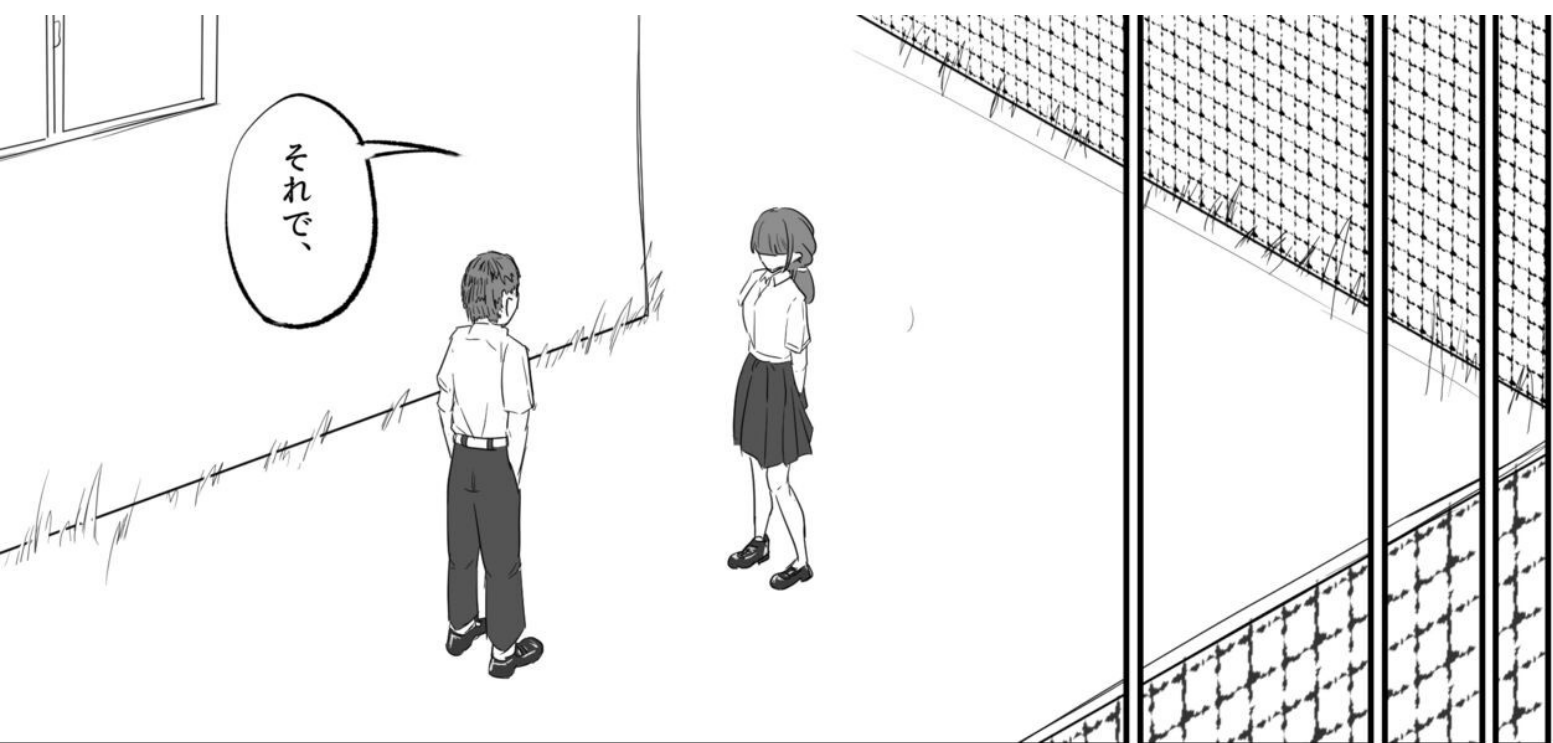


大事な話があるんだが、
明日、8時に校舎裏まで来てくれないか？

いいけど……ここで言えないこと？

できれば直接伝えたい

わかった





香織と
付き合うことに
したから……

お前にはそれを
伝えておきたくて……



……………香織って、
ああ、七星さんの
下の名前か……

それで、
……………え？



付き合う……

付き合うって
言った？

この2人が？

なんで？

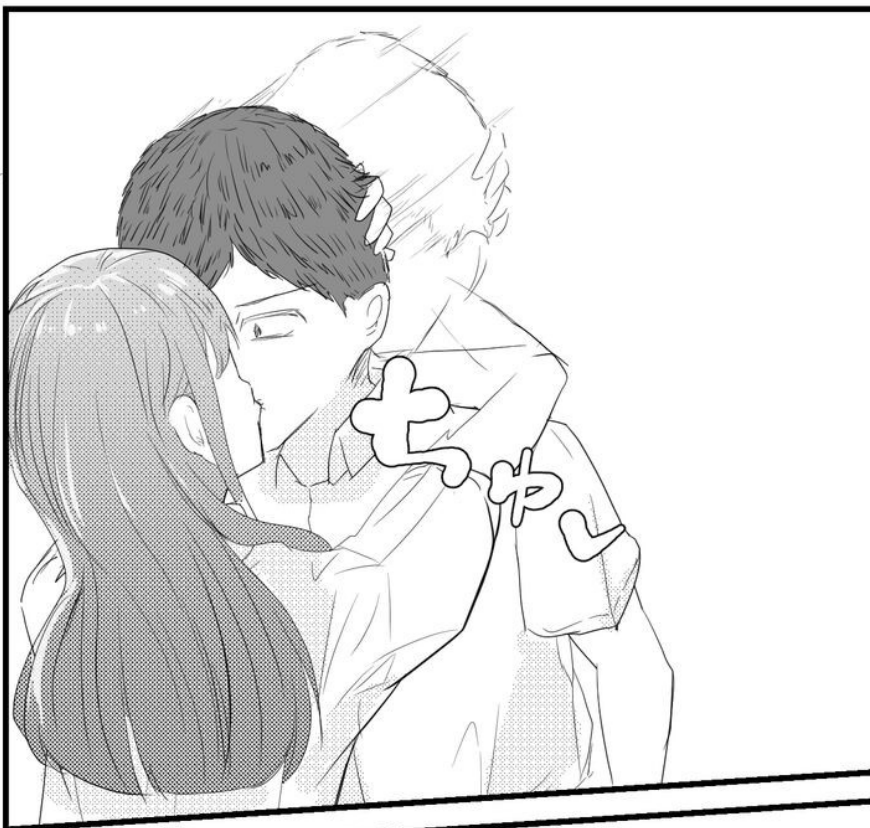
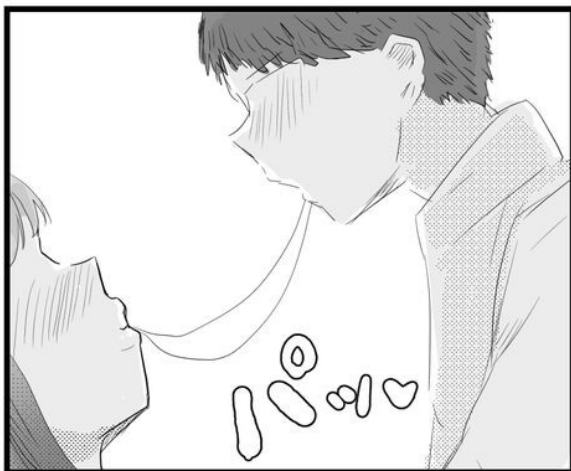
いつの間に？

だって陽一は
私と七星さんの
仲だって知ってる
はずなのに……

あれ？
分からないかな？

付き合うって
いうのはね、





こういうことする
関係って
ことだよ？



いや、流石に、
人前するのは
やめなってる……

え？
嫌だった？

嫌じゃないけど、
見せるもんじゃ
ないだろ……

なにこれ、夢？
だって、
だって、
そんなの
おかしいでしょ……？



信じられない…
なんであんな
なんかが…

ケンカみたいにな
るなら、もう
やめてくれ

え〜♪
これでもまだ
信じられないの？

咲希、

別に祝ってくれ
って訳じゃない

ただ、幼馴染みの
お前には伝えるのが
礼儀だと思っただけ
だから……

できればわかって
欲しかったけど、

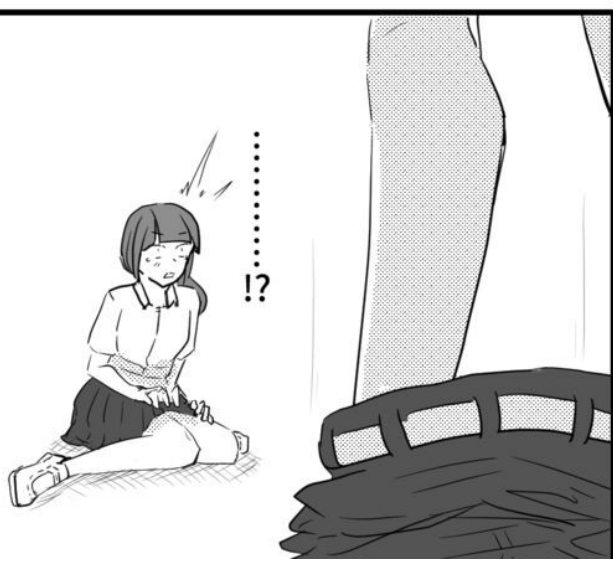
香織のこと
悪く言うようなら
もういい

……話は
これで終わりだ

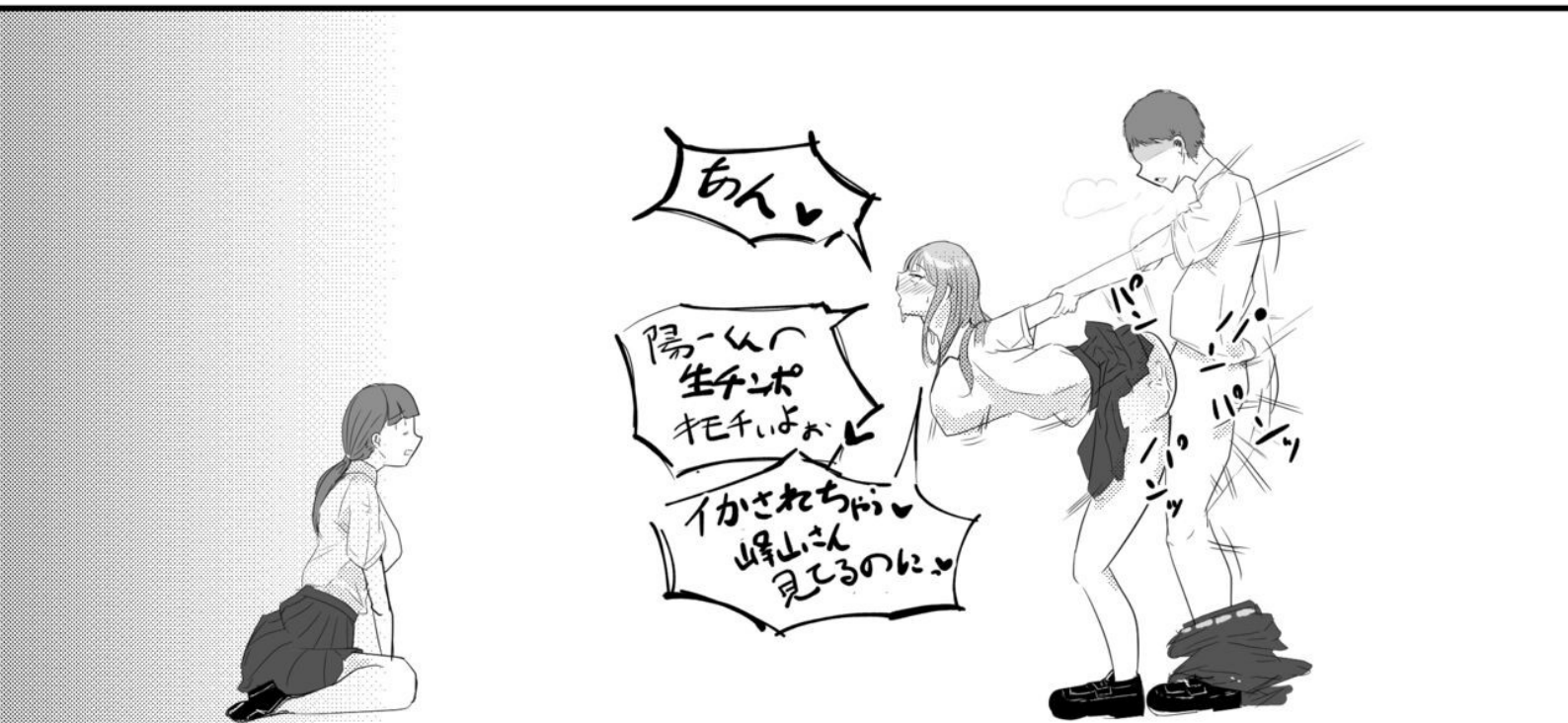
……わかって
欲しいんでしょ？

だったら
わからせて
あげれば
いいじゃん

え？







やっちゃんができちゃうやつだよね……？

なんでそんな、
平気な顔で……

LOAF

あ

ベータ

あ あ ああ

ゴッ

だから、その顔が
見たかった……

味方だと思ってた
幼馴染み奪われて
絶望してる、
惨めな顔……

ありがとう
私も陽子の
おちんちん
大好き♡

好井 香織

女子

نہیں، میں نے
کبھی نہیں

香織：
好丈夫！！



気持ちいい……!!
それに香織の中、
すごく濡れてる……
香織も、気持ちよく
なってくれてる
のかな……



もう、嫌……
コイツも、陽一も、
頭おかしいんじゃないの!?
最悪!
気持ち悪い……!!



あゝあ♥
二人とも、あんなに
仲良かったのに♥

友情も、愛情も、
全部壊れて
台無しに
なっちゃった♥

ほんつと、最高……♥
あなたたち見ると、
私も、
どうしようもなく
昂ぶってきちゃう……♥

ヤバ、イク♥
イっちゃう……♥
ちようだい!
好き好き好き好き♥
私の中に、出して!!



ハァ♥

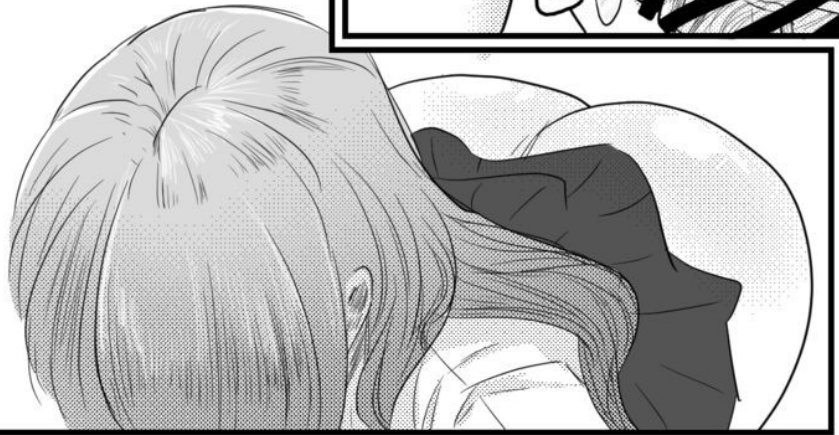
ハァ♥

ハァ♥



ふっ…

どうかな？
峰山さん



あつ、でも
安心してね♡

あなたと陽一君が
仲良くしてても
ヤキモチ妬いたり
しないから♡



これで認めて
くれたかな？
私たちが愛し合ってる
ってこと



だってあなたに
陽一君を寝取られる
心配なんて、
全く必要無いもの♡

だからどうぞ
遠慮せずに…



ストン



これからも、
『私の彼氏』を
よろしくね…♪



あとがき

ご購入、および最後までご覧頂きありがとうございます。

あくまで「フィクションの中で」、という前提ではありますが、大事なものを踏みにじる、踏みにじられるというのもとても刺激的です。本作のヒロイン、七星香織は、人の大切なものを踏みにじることに興奮を感じる、わるいおんなです。下手に優秀なため、標的にされた主人公たちには抗うこともできません。主人公に至っては踏みにじられた自覚すらありません。なんなら主人公は、怒りを買った張本人である咲希の幼馴染みだから、という理由で巻き込まれただけに過ぎません。(好き好き言ってますがもちろん恋愛感情などあるはずもなく)

わるいおんなです。
……もっとこういう女の子が描きたいですね。

さて、今回は初めてということもあり、ストーリーとしては比較的シンプルな筋書きになりました。次は、難しいかもしれませんが、ちょっと変わった設定のお話が描けたらいいなと思っています。「彼女の偽物に逆NTRされる話」「明るい女の子が感情を奪われる話」「催眠アプリを女の子に使わせる話」「ハッピーエンドの貢ぎモノ」「サキュバスに愛情をドレインされる逆NTR」など……興味があればフォローなどお願いします。それでは、また。

奥付

タイトル 大切な幼馴染みを裏切って悪い女の子に恋してしまう話【催眠逆NTR】

発行日 2023年10月12日

著者 海山屋 (X名義『(° … °)』@euoxzcvi)

連絡先 umiyama1027@gmail.com

辞書借りていい？
ってか借りるね

……？
何この本？

ん？
どうしたの
慌てて……って、
なるほどね

キミも男の子
ってことかな

へえ

こういうのが
趣味なの？
ちよつと
感想教えてよ

……あ、違うか

キミはね、
今からこの本を
レビューしたく
なってくるの

ほら、教えてよ♡
「自分はこのシーンで
興奮した変態です」
……ってさ♡

……あはっ♡
なに息荒げてんの？
思い出して興奮した？
それとも言わされて
興奮したのかな？

……え？ 私、今日は
そういう気分じゃないなあ。
又くならこのマンガでも
読んで、一人でシなよ、
変、態、さん……♡